第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	新しい国語	2
項目		東書
<	知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○「広学言葉」と資料編の「言葉を広げよう」で多くの語彙に	ついて学ぶことがで
	きる。文法事項は体系的に整理されている。	
	○情報の扱い方については、「論理的な言葉の力」の系統の教	材で「情報の整理の
	仕方」「情報と情報との関係の捉え方」を学べるようになっ	ている。
	○古典は作品の背景がわかる資料があり、巻末の資料には豊富	に古典作品がある。
<	(思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫)	
	○「話す・聞く」は「対話的な言葉の力」の系統で、伝え合う	力の基礎を学べるよ
	う工夫されている。	
	○「書く」の教材は、学習過程の途中段階、完成形が具体例と	して示されている。
the second)「読む」で身に着けた「言葉の力」を「話す・聞く」「書く	」の言語活動に結び
内容	付け、思考力、表現力を育成できるよう工夫されている。	
<	(学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>	
	○6人の中学生が登場する「学びの扉」で課題に気づき、教材	のてびきの学習活動
	を行いながら「学びを支える言葉の力」にまとめられている	、「言葉の力」を確
	実に定着させるという、学習のプロセスが明確に示されてい	る。このことで、生
	徒が主体的に学び、国語の資質・能力が身につくようになっ	ている。
<	読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成する	ための工夫〉
)「読む」の学習材や「読書への招待」での関連図書の紹介や	テーマ読書、名作読
	書、著名人が薦める本などの読書案内が豊富にある。	
	○読書活動では、読書を楽しむこと、情報活用能力を育成する	ことができるように
	なっている。	
	〇巻末の豊富な資料で主体的に学びを深めることができるよう	になっている。
資料)「学びを支える言葉の力」は「論理的」「文学的」「対話的	」な言葉の力がまと
夏 竹	めてあり、汎用的な学力に結びつく資料となっている。	
	○表紙、巻頭のイラストにストーリー性が感じられ中学生の感	性に合っている。
	○本文下段の新出漢字のフォントが大きく、フリガナが多くふ	られている。また、
表記・	「漢字道場」で「他教科で学ぶ漢字」を学習できる。	
表現	O行末に行数と「・」がつけられていて行を数えやすい。	
	○色の違いで区別しているところには、マークや文字情報を加	えたカラーユニバー
	サルデザイン仕様になっている。	
)「読む、書く、話す・聞く」の3領域の言語活動は「主体的	・対話的で深い学
総括	び」が実現できるような工夫がされていて、キャラクターや	イラストが多く使わ
	れ、楽しく学べる教科書になっている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	担件の民語	1 5		
項目	現代の国語	三省堂		
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉			
	○語彙については、教材ごとの「語彙を豊かに」と巻末の「語	彙の広がり」で確か		
	な言葉の力を身に付けることができるようになっている。ま	た、資料編に辞書を		
	活用する教材が各学年にあり、言語活用能力が身につくよう	図られている。		
	○情報の扱い方については、図表やグラフと文章を関連付けて	考えを深める教材が		
	各学年の単元6に配置されている。			
	○古典教材には視覚的な資料が豊富にあり、巻末の資料「古典	芸能に親しむ」で日		
	本の伝統文化に対する興味、理解を深めることができるよう	になっている。		
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉			
	○「話す・聞く」は話合いを通して伝え合う力を伸ばす言語活	動の工夫がある。		
	○「書く」は、様々な文章の形式について学び、社会生活に生	かせる「書く力」を		
 内容	育成できるようになっている。			
L 144	○「読む」では、「読み方を学ぼう」で読解のポイントを図解	で示している。ま		
	た、各教材にある「思考の方法」では、考えを深める思考法	について、汎用的な		
	力がつくようになっている。			
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉			
	○教材ごと「学びの道しるべ」で見通しをもって主体的に学ぶ	ことができ、振り返		
	りで自己評価できるようになっている。「学び方」を学ぶこ	とで、他教科や社会		
	生活で活用できる、汎用性のある言葉の力を身に付けられる	ようになっている。		
	○資料編の「読書の広場」には、古事記をはじめとして様々な	ジャンルの文章が掲		
	載されている。			
	〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成する	ための工夫〉		
	○有名作家の「私の読書体験」、巻末の「読書の広場」、教材	ごとの「私の本棚」		
	など豊富な読書教材が配置されている。			
	○資料編は「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生	活に生かす」「参考		
資料	資料」の4つになっていて、実践的な知識や具体の学び方な	どがまとめてある。		
	○古典は、2次元コードで原文や現代語訳を調べられるように	なっている。		
表記・	○巻末の参考資料に「○年生で学ぶ漢字辞典」として、教材ご	との新出漢字が筆順		
表現	の田園、日本日訓田ウナベジトノニシトマンフ			
総括	 ○「学び方」や「読み方」を学び、学習の見通しをもって教材	 に取り組み、振り返		
	りができるという学習の流れになっていて、生徒が主体的に			
	確かな学力が定着する構成になっている。			
	○巻末の資料編では、学んだことがまとめられていて、他の教	科や社会生活に役立		
	つ知識となるように整理されている。			
	/ MAC 0. 0 0. / 1 - IE-IE C 4 0 C . 0 0			

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	書名 にょるこ言辞 中労団語	1 7
項目	伝え合う言葉 中学国語	教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○語彙については、「読む」教材ごとに「この教材で学ぶ言葉	」を示し、巻末にも
	折り込資料として理解・表現に役立つ言葉が提示されている	0
	○「情報の扱い方」については、「学びナビ」や「表現に役立	つ言葉」で論理的に
	思考する力、情報を整理し表現する力がつくよう工夫されて	いる。
	○古典教材は導入時の資料に興味を持たせる工夫があり、巻末	の資料で百人一首な
	ど伝統的な言語文化に親しむことができるようになっている	0
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○SDG s の視点で選定された各領域にわたる教材の学習で一人で	ひとりが課題を見つ
	け、「正解のない問い」に対して自分の考えをもち、意見を	交流することで「主
	体的・対話的で深い学び」が実現できるように編集されてい	る。
 内容	○「話す・聞く」「書く」の教材では、表現活動を通して「思	考力」が身につくよ
L 144	うになっている。	
	○説明的文章で学んだ論理の展開、表現の工夫を「書くこと」	に結びつける言語活
	動の工夫がある。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○教材の初めの「学びナビ」で何を学ぶかという学習の見通し	をもち、「みちしる
	べ」に従った学習活動で言葉による見方や考え方を働かせ、	「振り返り」で学ん
	だことを確かめるという学習のプロセスが明確に示されてい	る。
	○「四季のたより」では写真資料で視覚的な情報を与えて詩歌	の情緒を味わうなど
	伝統的言語文化を学ぶことができるようになっている。	
	〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成する	ための工夫〉
	○単元に関連した図書を「広がる本の世界」でその都度紹介し	、「読書への招待」
	では各学年で適切な作品を選定し、ていねいな解説資料も掲	載されている。
	○巻末資料の「言葉の自習室」には読書、古典、語彙等につい	ての豊富な資料が掲
資料	載され、学んだ言葉の力を深めることができるようになって	いる。
A11	○巻末の折り込資料「表現や理解に役立つ言葉」では関連する	ページに戻って学習
	することができるようになっている。	
表記・	○国語学習に必要な用語、小学校6年で学習した漢字、常用漢	字が巻末にまとめら
表現	れている。	
	○①国語の学び方を学ぶ、②日本の「言葉と文化」を学ぶ、③	現代の「地球規模的
総括	な課題」を学ぶ、の3つの柱で構成されている。また、「学	びナビ」で何を学ぶ
	かが示されていて、国語科で身に付ける「資質・能力」につ	いて見通しをもって
	学習できるようになっている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中央共国部	3 8
項目	中学校国語	光村
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○「言葉を広げる」では、文章中で理解した語を使用できる語	にする学習活動があ
	り、巻末には「語彙を豊かに」という語感を磨く資料を掲載	している。
	○情報の扱い方については、「思考のレッスン」「情報整理の	レッスン」「情報社
	会を生きる」にまとめられていて活用する技能を高められる	ようになっている。
	○1年の古典学習に3年間で学ぶ作品を一覧で示し学習意欲を	高める工夫がある。
	「季節のしおり」「季節の言葉」で言語文化の豊かさを学ぶ	ことができる。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「話す・聞く」では、対話的な学びの基礎として質問力(主	体的に聞く力)をつ
	けることを目的とした「対話・質問」の教材が掲載されてい	る。
	○「書く」では、統計資料を活用して書く活動を多く設定し、	情報活用力を育成す
	るようになっている。	
内容	○「読む」では、「学習の窓」に文学的、説明的文章を読むた	めの基本的な観点が
	まとめられていて、読むだけでなく書くことにも活用できる	ようになっている。
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○巻頭には学習内容の一覧表があり、「話す・聞く」「書く」	では「集める・整理
	する→組み立てる→伝え合う・表現する」という学習過程、	「読む」では「捉え
	る→読み深める→考えをもつ」という学習過程を明示し、学	習の見通しをもち主
	体的に学習できる構成になっている。巻末には、「学習の窓	」一覧があり「学習
	を振り返ろう」で学んだことの定着が図れるようになってい	る。
	〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成する	ための工夫〉
	○「本の紹介」「感想の共有」「読書生活のデザイン」の3つ	の系統の学習活動を
	各学年で提示している。	
	○「読む」教材ごとの「広がる読書」で関連図書の紹介、「本	の世界を広げよう」
	ではジャンル別に整理された読書案内が掲載されている。	
	○巻頭折り込の「思考の地図」や巻末「学習を広げる」はわか	りやすくまとめられ
 資料	た資料になっている。	
貝17	│○説明的文章に模式図、地図、写真、表、グラフなどを用いた	文章を掲載し、文章
	と図表を結び付けて読む力を育成できる教材が豊富である。	
表記•	○漢字学習単元には豊富な練習問題が掲載されている。	
表現	○学習用語を示し、文章理解に役だてる工夫がある。	
	○新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び	
総括	な工夫された言語活動等が適切に配置されている。情報の扱	
	料も充実していて論理的思考力を育むことができるようにな	っている。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	並しい事庁	2	
項目	新しい書写	東書	
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉		
	○各単元で目標から振り返りまでのねらいが焦点化され、	何を学ぶのかを理	
	解しやすく構成している。		
	○毛筆では穂先の動きを朱墨の濃淡で示し、視覚からの理	理解も深まる工夫が	
	されている。		
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉		
	○書体の比較により差異について考えさせるなど、学習の	ポイントを意識で	
	きるよう構成している。単元末では演習を交えながら生	E活に生かせる工夫	
	をした構成をしている。		
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉		
内容	○導入では硬筆文字から課題を見いだす工夫がある。単元	E末では学んだこと	
	の対話的な振り返りを設定し、より深い理解ができる。	またデジタルコン	
	テンツにより動画などを用いて主体的学びをサポートし	している。	
	〈毛筆と硬筆との関連〉		
	○硬筆文字を導入で取り入れ、毛筆で書いて確認ができる	-	
	では文字の大きさや、配列、字形などのポイントをイラ	ストや図版を設け	
	て、毛筆に活かせるような工夫がされている。		
	〈各教科や社会生活との関わり〉	N del -la	
	○文字の成り立ちの知識や手紙の書き方、防災、安全、キャーをよりないでは、		
	権、福祉など現代的な問題に対応した課題設定がされており、学びの広が しょびエナストランス		
	りが工夫されている。		
Yes No.	○姿勢、筆記具の持ち方、用具の扱い方を写真や図で示し ストなども取りまれており、佐はば聞くな様でストラも	-	
資料	ストなども取り入れており、生徒が関心を持てるような ○漢字、監まには世書、行まが云されている	「上大されている。	
	○漢字一覧表には楷書・行書が示されている。 ○壬ダエナの中: めダ豚の上声の o かざりか ばばはいのよ	パンプ 政体的 あま	
丰 到 .	○毛筆手本の中心や筆脈や点画のつながりなど筆使いのコー 線などで示されおり、視覚的に見やすい工夫がされてレ		
表記· 表現 表現		- 0	
	○目標が明示され、何を学ぶのかを分かりやすい工夫がさ イラストや写真を用いて、視覚的にも見やすい配慮がさ		
	○教材ごとに目標から振り返りまで一貫しており、ねらい		
	○教権ことに自標がら振り返りまて 負しており、4450v る。対話的な振り返り活動を設定し、生徒自身が学び合	•	
総括	いる。「文字のいずみ」では、漢字の成り立ちや変遷な		
	めるような工夫をしている。紙面はすっきりとまとめら		
	らも見やすいよう工夫している。	2 1 2 1 2 1 DEDUK	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	田仏の事庁	1 5
項目	現代の書写	三省堂
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○各単元の最初では、学習内容が一目でわかるように目標	票とポイントが示さ
	れており、指を使ってポイントを確認できるように工夫	らされている。
	○書くときの姿勢や筆記具の持ち方のほか、毛筆では用具	具の置き方や墨のす
	り方、用具の片づけ方も写真で示されている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「見つけよう・考えよう」の問いによって、文字の書体	を比較しながら単
	元の課題を意識して学習を進められるようになっている	<i>,</i>) _o
	○各学年の最後の部分に配置されている「やってみよう」	において実生活に
	役立つ教材を取り上げている。	
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○全ての教材に学習目標と振り返りが設置され、主体的な	*学びに取り組める
	ための工夫がされている。	
	○デジタルコンテンツにより動画を見ることができるなと	ご、主体的な学びを
	サポートする教材が配置されている。	
	〈毛筆と硬筆との関連〉	
	○楷書や行書の筆づかいが図や解説で丁寧に説明されてお	らり、「書いて身に
	つけよう」など硬筆を学習するページが多く用意されて	こいる。
Ī	〈各教科や社会生活との関わり〉	
	○手紙の書き方や時候の挨拶、願書の書き方等、実生活は	生かせる教材が豊
	富に用意されている。	
	○姿勢・筆記具の持ち方のほか、用具の置き方、文房四宝	医など文字文化に
資料	関わる内容を写真や図で示している。	
貝/竹	○巻末の「資料編」では、日常の書式がまとめて見られる	うようになってい
	る。また、楷書と行書の一覧表が五十音順で示されてい	る。
表記・	○毛筆手本の中心が記号で示されている。さらに、筆使レ	いのポイントが、記
表現	号や点線、穂先がわかる濃淡等で示されている。	
12.5%	○色覚の特性による見え方の差が少ない色を使用している	,) ₀
	○教材ごとの学習内容や目標、学習ポイントが明確に示さ	られている。 さら
	に、ワークシートとして硬筆で書き込めるページが豊富	『にあり、字の書き
総括	方を継続的に学ぶことができる。各学年の最後や「資料	4編」の中には、文
	字文化に関わる教材や実生活に生かせる教材が豊富に用	意されており、そ
	れらを自主的に学ぶことができる構成になっている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名		1 7
項目		教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○書くときの姿勢、用具の置き方等について写真で示され	にいる。基本点画
	については穂先に朱墨を付けて書いた濃淡で示してあり	、筆の運び方がわ
	かりやすくなっている。教材ごとの目標が簡潔で理解し	やすい。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「考えよう」では、文字同士を比較して考える学習をす	「ることができる。
	○「学習を生かして書く」では、毛筆で学んだことを硬筆	医に生かす等、基礎
	的な学びを生かして書くなどの表現活動ができる構成を	としている。
 内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
L 1/4	○「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の□	3段階で学習手順が
	明確化されており主体的な学びに取り組むことができる	ら。デジタルコンテ
	ンツによって動画を見ることができ、主体的な学びをサ	ーポートしている。
	〈毛筆と硬筆との関連〉	
	○基本点画の書き方が丁寧に解説されており、「生かそう	」で毛筆での学び
	を生かしながら硬筆を行えるような工夫をしている。	
	〈各教科や社会生活との関わり〉	
	○いくつかの教科についてノートまとめの例が載っており	、また手紙の書き
	方、願書の書き方等が手本として載っているため実生活	后に生かしやすい。
	○姿勢と用具の使い方、基本点画が写真で示されている。	
	○「コラム」で文字文化に関する写真を多く示している。	また、日常生活で
資料	の活用例も具体的な生徒作品を用いて写真で紹介してレ	いる。
	○巻末には楷書と行書で書かれ部首によって分類された消	草字一覧表がある。
	○文章表現が簡潔であり、伝わりやすい。	
	○文章及続が間係とめり、伝わりくすく。 ○筆使いのポイントが、記号や矢印、朱書きの濃淡、穂先	この写直などで相骨
表記・	○事体であれている。	107子兵なこで成品
表現	○色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色で構成され	している
総括	○「学習の進め方」が明確にされている。教材ごとに全体	の目標を確認した
	後、「考えよう」で自分の課題を確認し、「生かそう」て	ご活用し、「振り返
	ろう」で次への課題が確認できるようになっている。身	Y近なクラス旗や看
	板、さらには書の古典の鑑賞など、文字文化に関わる様	長々な作品が取り上
	げられている。実生活に活かすための課題も多く取り」	こげられている。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	4. ## =	3 8
項目	中学書写	光村
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○各教材で「学習の窓」を設定し、文字を書く際の基本ポイ	'ントを整理してい
	る。毛筆では筆脈を朱墨や実線・点線などで示し、視覚	こから理解が深まる
	ような工夫がされている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「考えよう」の問いにより、文字の観察や比較をするこ	とでその差異に気
	づき、学習のポイントを見つけられよう構成している。	また、単元末には
	表現する活動に取り組めるよう構成している。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
内容	┃○各教材で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」と3つのス	•
	見通しが持ちやすい工夫がされている。またデジタル=	コンテンツにより動
	画などを用いて主体的な学びをサポートしている。	
	〈毛筆と硬筆との関連〉	
	○毛筆で学んだことを生かし、振り返りで硬筆を書く練習	
	「書写ブック」では硬筆課題が豊富に展開されており、反	て復練習ができるよ
	うになっている。 	
	〈各教科や社会生活との関わり〉	
	○「日常に役立つ書式」として手紙やはがき、願書の書き方	5など生徒にとって
	身近なテーマ設定がされている。 	
	○姿勢、筆記具の持ち方、用具の扱い方が写真や図で示さ	いれている。また、
	イラストなども取り入れており生徒が関心を持てるよう	工夫されている。
資料	○「コラム」では、文字文化に対する資料が掲載され、文	で字に親しめるよう
	な工夫がされている。写真やイラストも多様で視覚的に	こもわかりやすい工
	夫がされている。	
	○漢字一覧表には楷書・行書が示されている。	
表記・	○学習の指示は簡潔でわかりやすく明確である。書体もマ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	見覚的に見やすい工
表現	夫がされている。	
1	○筆使いのポイントが朱書きや点線により見やすく掲載さ 	られている。
総括	○各教材で学び方が3つのステップに統一され、学習の付	上方に見通しが持て
	る工夫がされている。また学習の目標が簡潔に提示され	いているので、何を
	学ぶのかを明確に捉えることができる。イラストや写真	具も工夫されてお
	り、生徒の興味関心を高める工夫がある。日常生活への	つつながりを意識し
	た教材を通して、文字に対する意識の向上につなげるこ	ことができる。
L		

種目(教科等) 【地理的分野(社会)】

書名	新しい社会 地理	2
項目	利しい社会 地理	東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○問いを軸に導入・展開・まとめへと単元を構造化し、課題解紙面構成となっている。 ○本文と関連する内容や技能を「地理にアクセス」や「スキルムとして取り上げ、地理の学習を進めていくうえでの基礎的つけさせる工夫が見られる。	・アップ」などでコラ
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○各授業のまとめとして、基礎基本の確認を行う「チェック」 語活動の「トライ」の2段階で学習課題を解決できるように ○まとめの活動において、ベン図やくらげチャートなど様々な ら、主体的に思考判断した内容を適切に表現できるようにな	している。 思考ツールを用いなが
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○導入の活動とリンクしたまとめの活動を予告することで、単習に取り組めるようになっている。 ○教科書全体を貫くテーマとして「SDGs」を意識した構成とな理」というコーナーを中心に世界や日本の課題に対する取りている。 	っており、「もっと地
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○単元全体を貫く「探究課題」の設定により課題をつかみ、1 題」を解決していくことで、探究課題の追究をすることがでいる。	
資料	○章の導入において小学校で学んだ用語やこれから学習していが掲載されている。○資料掲載部分に薄い色をつけることで、本文との区別を視覚ている。	
表記· 表現	○地理・歴史の学習内容と特に関連が強い内容に分野関連マー○他教科と特に関連が強い内容について教科関連マークが付け○本文と資料を結びつけるための「図番号」により授業で指示る。	られている。
総括	○「なぜ」という問いを立てて、それを答える作業を通して、 点を持って柔軟に解決していけるよう工夫されている。○豊富なアイコンによって視覚情報がすぐに目に入るよう工夫 キャラクターをなくしたり、学習内容に集中できるようにす ための工夫が多く盛り込まれている。	されていたり、本文に

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

書名	一、 一 中字社会 地理 地域に字ふ	1 7
項目		教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○写真・地図の導入から学習の見通し、学習のまとめへと本文	と資料がバランスよ
	く構成されているため、主体的に学びやすくなっている。	
	○「地理の技」というコーナーを設け、生徒に身につけさせた	い地図やグラフの扱
	い方などを必要に応じて習得できるよう工夫している。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「読み解こう」で写真・地図・グラフなどの多様な資料の読	み解きについて、問
	いを手がかりに取り組むことができ、資料を活用して考え、	まとめる力の育成に
	役立てようとしている。	
	○1時間の学習の振り返りとして、意見を交換するための課題	が設定されており表
 内容	現力などを育成しようとしている。	
1 3.11	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○章・節の扉ページに URL と QR コードの「まなびリンク」が記	设けられ、教育出版
	のサイトから、学習に役立つ様々な情報にアクセスすること	が可能であり、生徒
	が主体的に学習をすすめるための工夫が見られる。	
	○特設ページでは、世界の各州や日本の各地方の事例を基に、	地域づくり、多文化
	共生、社会参画などを考えることができる話題とともに、個	人やグループで学び
	を深めることができる「Q」を最後に設けることで、学びの浴	架化を促している。
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	
	┃○見開き2ページを1時間の構成で、見開きごとに「学習課題	
	を設け、生徒が他者と意見交換したり、主体的に学習に取り	組んだりすること
	で、学びが深まるように工夫されている。	
	○世界と日本の学習のあいだに折り込み資料として8ページに	渡る、資料性の高い
資料	グラビアページが入っている。	
	○キャラクターの言葉によって導入資料の見方のヒントを提示	-
	│○図やグラフなど、教科書中の表現には、カラーユニバーサル	デザインを取り入れ
	ている。	
表記・	○本文や注など、教科書中の文章には、ユニバーサルフォント	を使用している。
表現	○本文と資料の関連を番号で示している。	2.2.4.221/. (.)
	○各章ごとに見出しの色を統一することで区切れをわかりやす 	てする工夫が施され
	ている。	, , , , ,
	○授業1時間ごとの見通し・振り返りに加えて、節・章といっ	
総括	し・振り返りをすることで知識・技能とともに見方・考え方	を働かせる力が身に
	つき、学習が深まるよう工夫されている。	
	○小学校や高等学校との連携を意識した紙面作りとなっており	
	ニバーサルデザインといった学習者への配慮が多く取り入れ	られている。

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

書名	社会科中学生の地理	4 6
項目	世界の姿と日本の国土	帝国
項目	世界の姿と日本の国土	
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○節や章の冒頭で単元を貫く問いが設けられ、その問いを受け 習課題が設定されているため、見通し・振り返り学習を積み を追究していけるように構造化されている。	
資料	○資料の巻頭で地理的な見方・考え方とは何かが端的に理解できる事例をのせることで、地理を学習する上での視点がまとまっている。○各地方で注目する視点に関わる写真を大きく掲載し、よりイメージをともなって地域の特色が概観できるようになっている。	
表記· 表現	○本文の記述を補足する写真や図版などが大判で豊富に掲載されている。○学習内容に関連する事項についての参照ページ、図番号などのリンク機能が設けられている。	
総括	○異文化理解・国土理解に重きを置いた誌面構成となっており 国際社会の中で生き抜くために、各地で見られる諸課題の解 に学習が進められるよう多面的・多角的な視点で教科書を構	決に向けて、主体的

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

書名項目	中学社会 地理的分野	1 1 6 ⊟ ▽
項目	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○「学習課題」と「確認」で見通しから振り返りまでを原則見している。また、課題解決の手がかりとして「見方・考え方設けられ、ここを手がかりに学習を進めていくことができる ○「スキルUP」というコーナーを設定し、生徒の発達の段階に地理的技能を身につけられるよう工夫している。	」というコーナーが ようになっている。
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○発達段階に応じて、シンキングツールを体系的に設定し、個を追求する場面など、様々な場面で活用できるように工夫し○ふりかえりページで「アクティビティ」や「チャレンジ地理け、ウェビングマップやディベートなど具体的な課題を自らできるようになっている。	ている。 」という項目を設
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○導入ページにおいてクイズを設定し、その州で追究する主題考察の仕方に深くかかわる写真を読み取ることで、主体的にとしている。 ○「声コーナー」を設け、世界や日本の人々の生活の様子が読に、実際にそこに住む人々が生徒に語りかける言葉として書 	考えることを促そう み取れる写真ととも
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○導入→大観→主題学習・動態地誌的学習→ふりかえりまでの や教科書全体を大きく捉え、生徒が主体的・対話的で深い学 工夫されている。	びを実現できるよう
資料	○全州・全地方で統一した体裁・配置・サイズで掲載されてお対比や他の州・地方との比較が可能となっている。○巻頭口絵において「位置や分布」「場所」「人と自然とのかな見方・考え方を働かせるものになっている。	
表記· 表現		
総括	○新学習指導要領で示された、5つの地理的な見方・考え方を ており、常に学習者が何を意識して学んでいるかがわかりや る。○東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした最新のト 題の具体的事例が豊富に掲載されているため、深く学ぶこと	すくまとめられてい ピックや今日的な課

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	(社会) 【歷文的万野(社会)】 (社会)	2
項目	新しい社会 歴史	東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○見開きを1単位時間とし、「導入資料」「学習課題」「本文	[] 「課題解決(チェ
	ック&トライ)」の流れで構成されている。また「スキルア	ップ」によって技能
	の定着、「読み取る」「まとめる」で技能がる活用できるよ	うに設定されている。
	○政治史・経済史だけでなく、文化史も多く取り扱い、伝統や	文化を通じて現代と
	の繋がりを考えられるようにしている。また、小学校の学習	事項が年表に位置付
	けられている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○学習の過程に「見方・考え方」を設けることにより、歴史学	習について自ら思考
	できるように工夫がされている。	
	○小集団での対話を想定した「みんなでチャレンジコーナー」	を設け、対話的な活
	動が効果的に行えるようにしている。	
内容	○「まとめ活動」では思考を整理するツールが活用出来るよう	にされている。
1 1 1	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○環境・人権・伝統・防災・情報など、5テーマで全体を貫き	、歴史学習を通して
	現代的な諸課題を意識できるよう留意して構成されている。	また、近現代では「持
	続可能な開発目標」を取り上げ、現代の課題の解決について	直接的に解決しよう
	とする態度を養う工夫をしている。	
	○世界や日本の文化遺産にマークを入れたり、「人物コラム」	を随所に設けたりす
	ることで、我が国の歴史に対する理解や、郷土にゆかりのあ	る人物を意識できる
	よう工夫されている。	
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	
	○導入で単元全体を貫く「探求課題」を決め、小単元ごとに学	
	めの活動では探求課題を解決する構成となっており、課題解	
	されている。また、「みんなでチャレンジ」では、対話的な 	学習の場面が設定さ
	れている。	
	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されて	
資料	○ページ毎に本文を囲むように資料が掲載されており、「見方	・考え方」によって
	資料の読み解き方が提示されている。	
	○各項目の見出し、資料名、重要語句等は太字で表記されてい	る。また見開きペー
表記・	ジ左下には時代のスケールがある。	
表現	○文体は敬体で、本文中に関連資料のページが添えられている	0
	○UDフォントで印字されている。	
総括	○紙面はAB版である。	
	○導入で課題をつかみ「探求課題」を設定し、学習の展開を通	じてその課題を解決
	していく構成となっている。また、探求課題の解決を補助す	る「探求のステップ」
	を設け、より深く課題を追及できる工夫がされている。小学	校で扱った内容が明
	示されており、小中接続の観点から見た時に工夫が為されて	いるといえる。二次
	元コードを用いたネットの活用も配慮されている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目 (教科等 書名		1 7
項目	中学社会 歴史 未来をひらく	教出
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開きを1単位時間とし、本編ページの最後に「確認」を設整理しながらまとめ、学習事項の確実な定着が出来るよう工 ○個人または班学習で扱いながら、小学校の基礎と中学校社会能を身に着ける為に「歴史の技」コーナーを設け、技能が高いる。 	夫されている。 科で必要とされる技
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「確認」で学習を整理した後に、「表現」のコーナーで、学 自らの考えを理由を交えながら表現できるように工夫されて のコーナーを適宜設け、史料を読み取り自ら思考する力が身 れている。	いる。また、「Q」
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各章の通史学習においては、導入の資料を大きく掲示し、生 取り、章の学習の見通しが持てるよう工夫されている。 ○日本の祭りや芸能、人権の獲得に関わった人々等を地理的分 ら記述し、人権確立の流れが分かるよう工夫されている。ま 引き」により身近な地域の歴史や現状、課題について関心が ている。	野とも関連させながた、「地域調査の手
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○導入で位置付けた「学習課題」を受けて、学習の最後に位置 表現」の問いに取り組む事で、知識・理解の確認や表現活動 見交換をしながら更に課題を深められるように工夫している	を行い、他者との意
資料	○資料には通し番号が振られ、本文と対照がしやすいように留○ページ毎に本文を囲むように資料が掲載されており、資料に問点や解説が掲載されている。	-
表記· 表現	○固有名詞や社会科特有の表現については振り仮名を付け、側けることで、読み手の負担軽減を図る工夫がされている。○本文は敬体で表記され、参照ページが設けられている。また用されている。	
総括	○紙面はAB版である。学習課題と並んで年表が載せられてお 学習する事柄がいつの時代なのかが分かりやすく工夫されて 人名と事項に分けられており、学習者が調べやすいように留 校での学習内容や資料については「小学校」との小見出しが 学校での学習との連続性や移行が考慮されている。全体に問 が基調とされており、本文や側注に数多くの発問が設けられ や課題の解決に向かう力の育成に向けた工夫がなされている	いる。また、索引が意されている。小学付けられており、小 題解決的な学習方法でおり、社会の変化

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科	等)【歴史的分野(社会)】
書名項目	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き 46 帝国
<u> </u>	く知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉
	〇見開き1単位時間とし、導入・学習課題・本文・振り返りの「確認しよう」「説
	明しよう」の展開で全て構造化されている。
	○節の冒頭に資料や学習を概観する「タイムトラベル」を置き、章の最後に「章の
	学習を振り返ろう」を置き、学習内容を振り返り知識を定着できるよう工夫がさ
	れている。また、基礎的な技能が習得できる「技能をみがく」コーナーが設けら
	れている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉
	○「タイムトラベル」で異なる時代を比較・考察し、思考を養う工夫がされている。
	○「確認しよう」では本時の習得事項の確認、「説明しよう」では、習得事項を生
	かして思考するように促す設問が設定されており、自分で判断・表現するように
内容	工夫されている。また、章の始めの問いは時代の特色を論理的に説明する際の手
1 3/11	がかりとなるように工夫されている。
	〈学びに向かうカ、人間性等を涵養するための工夫〉
	○「タイムトラベル」の中に地図帳の索引記号の様な「さくいんグリッド」を設け
	たり、「次の場面を探してみよう」で場面を焦点化することで時代の特徴をつか
	み、主体的に学習に取り組める工夫をしている。
	○中学生のキャラクターが発問や気づき、学習の手がかりや示唆等を提示すること
	で、主体的に学習に取り組めるように工夫している。
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉
	○単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」
	「説明しよう」、節末・章末の振り返りと、問いを構造化し、単元を通じそれぞ
	れの問いに答え、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。
	○見開きの左上部に導入、学習の中心となる資料が学習課題とともに大きく掲載さ
<i>7/</i> ₹ \[\r\]	れている。
資料	○ページ毎に、本文を取り囲むように資料が配置されている。また、資料の読み取
	りの為に、吹き出しや「資料活用」が随所に設置されている。
	○各項目の見出し、学習課題・重要語句・「問いを振り返ろう」等が太字で掲載さ
	れている。また、本文はUDフォントが使用されている。
表記・	○各見開きの左側に年表インデックスが設けられており、古代~現代のスケールの
表現	中で、学習している時代の位置づけが分かるよう工夫されている。
	○本文は敬体で、側注解説の対応番号や解説がある事が明示されている。
総括	○紙面はAB版である。
	○主要な 12 時代の見開きイラスト 「タイムトラベル」 を設けることで、政治・経済・
	文化を把握し時代の特色を掴んでから授業に進むよう工夫がされている。また、
	地域史の記述を充実させ、当時の社会を地域の視点から見て、日本史を多面的に
	みられるよう工夫している。章末に振り返りを設置し、深い学びに繋がるよう留
	意されている。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中学歴史 日本と世界	8 1
項目	中于歴史 日本と世外	山川
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開きを1単位時間とし、知識・技能の習得に向けて「導入のテップアップ」による振り返りという構成で統一されているる記述を多く設け、歴史全体の流れをつかめるようにしてい○各章の「まとめ」には学習してきた知識や資料を用いて記述ており、調べたりまとめたりする技能が身に付くように工夫	。また世界史に関す る。 する課題が設けられ
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○導入の発問・「ステップアップ」の課題・図版に付した課題 設けられており、発問に対して考え、判断する力が身に付く。 ○話し合い活動に向けた発問が「歴史を考えよう」「地域から けられており、グループ活動を通して歴史の思考力が高めら いる。	よう工夫されている。 のアプローチ」で設
八谷	 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○発問を随所に設けることにより、注目すべき内容や考えるべことを促す内容構成となっている。 ○地域を通じた歴史学習の為に「地域からのアプローチ」を設護を取り上げることで、歴史を学ぶことの意義を考えさせるまた、「歴史へのアプローチ」では少数民族の文化や世界と深めるものとなっており、歴史を多角的・多面的に見るためる。 	け、歴史や文化財保 よう工夫している。 日本の関係の内容を
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○本文を、因果関係を意識した記述とすることで、歴史の事象 その事象がどのような背景で起き、どの様な影響を及ぼした 問を設け、課題解決に向かわせる工夫をしている。	のかを考えさせる発
資料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されてに本文を囲むように資料が掲載されている。○用語解説を欄外に設け、史料については口語訳として中学生工夫されている。また、二次元コードでネットを扱いやすく	にも理解し易いよう
表記· 表現	○図版や資料に番号を付し、本文と関連付けるようにしている フなどはユニバーサルデザインに配慮した配色としている。○本文は常体で記され、参照ページが設けられている。固有名 べて読み仮名をふり、文字はUDフォントを使用している。	
総括	○紙面はAB版である。○各単元の冒頭に発問を設け、単元の中で何を学ぶのかを明確 図版の中にも発問を設けることで、資料のどの部分に注目す に工夫がされている。全体に中高の接続に留意されており、 れている史料や図版を、中学生にも分かりやすい形でアレン:	べきかを分かるよう 高校教科書で用いら

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中学社会 歴史的分野	1 1 6
項目		日文
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開きを1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、認」で構成されている。また、見方・考え方を提示し学習課ての着眼点を提示している。 ○年表や地図を用いて振り返りの出来る「学習の整理と活用」をあて」に対する学習成果が確認できるようにしている。 	題を考えるにあたっ
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「深めようコーナー」を設け、習得した知識を活用して、課め、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。 ○各時代のまとめにおいて、これまでの学習内容を用いて時代ビティ」を設け、併せて課題解決に向けてのステップを設け思考して記述できるようにしている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	を捉える「アクティ
	○現代的な諸課題の歴史的背景や、解決に取り組んだ先人の解に向けた態度を養うことを目的とした「『歴史との対話』を定されている。 ○テーマ別索引を設けることで、自ら選んだ課題学習に取り組されている。また、「歴史との対話を未来に活かす」では、界平和について考える学習課題が示されている。	未来に活かす」が設 みやすいよう工夫が
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○各時代の学習において生徒が学習課題を明らかにできるよう は過去と現代の物を並列して載せる等して、比較の視点で課 に工夫されている。また、導入に対応する形で「アクティビ おり、課題解決型学習がしやすく工夫されている。	題を追究できるよう
資料	○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。また、ウェブに掲載された資料には「デジタルマーク」が表示されている。○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、挿絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載され、キャラクターが問いかけを行っている。	
表記· 表現	○見出し、学習課題、重要語句、確認は太字で掲載されている。○見開きページ右側に時代のインデックスが載っている。○本文は敬体で記載されており、参照ページが設けられている。文字にはUDフォントを用いている。	
総括	○紙面はAB版である。○資料をもとに歴史を考えさせる課題である「チャレンジ歴史 味をもって主体的に歴史が学習できるよう工夫がされている には意見交換を提案する吹き出しが設けられ、話し合い活動 の育成が考慮されている。導入の年表には小学校で学んだ人できるようにしている。	。また、各課題の中への促しや、表現力

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名		2 2 7
項目		育鵬社
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○つかむ、調べる、まとめる、表現するという一貫した流れで構成。 決型学習の教材配列となっている。 ○各章末の「学習のまとめ」では、年表の穴埋めやほかの時代といる。 に着目できるような設問が設けられている。	
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」など、多様な資料をコラ、が多面的・多角的に考察し、公正に判断できるよう工夫されて ○各章に「『私の歴史博物館』」をデザインしてみようというコーリ、自分が歴史博物館の学芸員になったつもりで、各時代の展示ることで、自ら主体的に時代の特色を捉えられる工夫が見られ 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	いる。 ーナーが設けられてお 示物と展示方法を考え
	○各章に「歴史のターニングポイント」というコーナーが設けられ 当事者だったらという意識で、歴史と向き合える工夫が見られ ○神話や和歌、建築物、彫刻など日本の伝統文化や現代に伝わる 材を多彩な資料とコラムで取り上げている。また、歴史にみられ 流について、具体的な事例を多数紹介している。	る。 文化遺産を尊重する題
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○本文見開きページの最後に学習のまとめが設けられ、学習したができるよう工夫されている。 ○各章冒頭に「○○の世界へようこそ!」で、章の課題を主体的はされている。	
資料	○掲載資料のいくつかは実寸で記載している。○写真や絵画などの着眼点に番号をつけて、どこにどのようなものすくなっている。	のがあるかがわかりや
表記 · 表現	○重要な語句の意味を簡潔に確認できるようになっている。○見開き冒頭に複数の資料を掲載し、生徒が興味関心を持って学習でいる。○本文は敬体で記されている。	習できるように工夫し
総括	 ○教科書の紙面は、AB版が採用されている。 ○小学校社会科や地理分野の学習を生かしつつ、社会的事象を歴史的な見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うための言語活動が豊富に盛り込まれている ○「このころ世界は」というコーナーが各章の最初に設けられ、世界の歴史との関わりを意識した誌面構成となっている。 	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	ともに学ふ人間の歴史	2 2 9
項目		学び舎
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開きを1単元とし、導入資料、「学習課題」、本文、参考る。また、「地域の博物館で調べる」でインターネットや博学習・体験者からの聞き取り討論の方法が紹介されている。 ○章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確認や、資料を読みきるよう工夫されている。	物館を利用した調べ
内容	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○章末の学習のまとめ「章の振り返り」では、章の学習全体を 葉でまとめる課題が設けられており、生徒自身の言葉で表現っ また、グループ活動で深められる教材も用意されている。 ○各章の始めに、年表・資料・地図を用いて時代を概観できる 生徒自身で考え学習の見通しを持てるよう工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	するようにしている。
	○インターネットを用いて関連する資料が検索できる手引きがんで学習を深め、主体的に取り組めるよう工夫されている。○時代ごとのトピックや風俗を、親しみやすい形で章ごとの導とで、過去の人々と現代に生きる人々との同時代性を感じらている。	入部分に盛り込むこ
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○各章の始めに単元を貫く学習課題を置き、章末のまとめでは応した課題を考えることで、更に追及したり深めたりできる○現代史を充実させ、歴史と今日的課題を結びつけ、公民学習	ようにしている。
資料	○見開きの左上部に中心となる資料が大きく掲載されている。○ページごとに、上部、左右に本文を取り囲むように写真、挿道グラフ、地図などが掲載されている。	絵、文章資料、系図、
表記· 表現	○重要語句は本文中に太字にはせず、本文の左右に資料ととも○本文は敬体で表記されている。○使用する学年に合わせ表現・表記を変えている。	に掲示されている。
総括	 ○紙面はA版である。 ○章の始めに年表・図版・表・グラフなどを用いた時代の概観時代の様子や学習課題に対する答えを予想できる構成としての末にコラムや資料が載っており、そこから学習を深めさせる。巻頭に古代から現代までの概観と、歴史の学習方法の説年表に記述する作業活動により、歴史学習の全体を把握でき 	いる。見開き小単元 ようという工夫があ 明が記述されおり、

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	新しい社会公民	2
項目		東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	441-1017-1-11 D
	○学習内容が見開き2ページで構成され、はじめに「学習課題」	
	│ 「チェック」を設け、本文からの抜き出しの形で学習内容を確 │ している。	送夫に垤胜りるように
	○こくいる。 ○章の終わりの「基礎・基本のまとめ」により、重要語句の確認	プシワーク 問題がな
	り、知識及び技能が習得できるように工夫されている。	N () N DI OE (V · (V)
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	へいる力、刊聞力、私気力寺を自成するためがエス/ ○見開き右下に掲示されている「トライ」には、学習課題を自分	の言葉で説明する形
	であり、思考力、判断力、表現力等を育成する形となっている	
	○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するために、現代社	
4.2	活用して考察する場面を示した「見方・考え方」や、協働的な	. , , ,
内容	でチャレンジ」が設定されている。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○本文の学習内容を補完する「公民にアクセス」を設け、関連す	る知識を習得できる
	ようにしている。また生徒にとって興味・関心を喚起する「テ	ィーブレイク」を適
	宜設け、学びに向かう力を高めるように工夫している。	
	○「18歳へのステップ」では、「選挙の流れ」や「契約のあれる	これ」など、選挙権
	年齢や成年年齢の引き下げを受けて、18歳に向けて準備する~	ページがあり、学び
	に向かう力や、人間性を涵養するための工夫がある。	
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	
	○「みんなでチャレンジ」ではグループで協力しながら取り組む	対話的な活動のコー
	ナーがあり、課題を追究・解決する活動の充実を図るためのエ	<u> </u>
	○巻頭では「持続可能な社会の実現にむけて(これからの社会を	· - · · - · ·
	は「持続可能な社会の実現にむけて(これからの自分を考える	
資料	と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と	発展を目指すことの
	重要性を意識させるようにしている。	・ノハン)~の田芸和治さ
	○統計・資料や日本国憲法をはじめ、関連する法令集、解説・されている。	・くいんで用語解説が
	○本文はUDフォントを採用し、重要語句は太字である。本文中	ICn OOと示し
表記・	関連事項が分かるようにしている。	ле р. 00 2 л о,
表現	○本文の補足資料について白抜き数字を示し、関連資料と関連付	けている。
200	O/PXV/III/CRATIC V CIMC M 1 EA ON MAZRATOMACI	
総括	 ○紙面はAB版である。学習課題に対して、教科書のキーワート	で本文の抜きだしを
	使って説明する、共通点や相違点に着目して説明するなど多様	
	うに工夫している。身近な事例を基に見方・考え方を働かせて	
	究・解決できるよう「まとめの活動」が設定されている。そこ	
	を通して多面的・多角的に考察することで理解を深め、社会参	画する態度を養うよ
	うに工夫がされている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名項目	中学社会公民ともに生きる	17 教出
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○学習内容を2ページで構成されており、「学習課題」に対応し現!」で学習内容の定着を図るようにしている。 ○章の終末には「学習のまとめと表現」があり、重要語句の確認について文章化し説明させるなど、基礎的・基本的な知識・技がされている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「学習のまとめと表現」のステップ3で、説明や話し合いなとし、思考力等を高めようとしている。 ○「言葉で伝え合おう」の中で、ディベートやプレゼンテーショョンなど多様な表現活動を示している。 	た「確認!」と「表品やワーク問題、語句で能を習得させる工夫での言語活動を充実
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○コラム「公民の窓」「公民の技」「クリップ」を設け、学習内り下げて。学習内容の理解を深め、学びに向かう力を高めようる。 〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」を学習した内容体的に活用することで、課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	とする工夫が見られ
資料	○巻頭では、「現代を生きる私たち」「公民の学習を始めるにあれ、世界で起きている事象と課題に触れさせることで生徒の公ようになっている。巻末では「持続可能な未来を目ざす人々」また日本国憲法をはじめ、関連する法令集、用語解説と索引が○「まなびリンク」からウェブサイトを介して、関連サイトからることができるように工夫されている。	民への関心を寄せるが掲載されている。掲載されている。
表記· 表現	○本文は常体で、文章表現も容易である。重要語句は太字であると示し、関連事項が分かるようにしている。○相互に関連するページが示されている。また、脚注で本文を補い語句の説明をするように工夫している。	-
総括	○紙面はAB版である。巻頭で公民の学習方法として「公民のノ ている。また、学習内容を象徴する主題と副題に置き、学習調 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる構成としている。各 単元を貫く「学習課題」が提示され、それを解決するために学 めの学習で振り返る流れとなっている。「公民の窓」では、日 ついての認識を深めることで社会参画する態度を養うよう工夫	問を明確に示して、 →章の学習のはじめに →習を積み重ね、まと 本や国際社会情勢に

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	ない 中学生の公民 FU良い社会をめずして	4 6
項目	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	帝国
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○見開き2ページの学習課題に対して、「確認しよう」「説明	しよう」を設け、学
	習した基礎的・基本的な内容の理解を確認できるように工夫	している。
	○章末には「学習をふりかえろう」を設け、ワーク問題等があ	り、基礎的・基本的
	な知識・技能を習得させる工夫がされている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「確認しよう」「説明しよう」は多面的・多角的な視点で自	
	り、表現したりする活動を促し、思考力、判断力、表現力等	を育成するようにし
	ている。	
	○「アクティブ公民」や単元を貫く問いを考察する「章の学習 	を振り返ろう」が設
内容	定されている。	
	(#48c+1.51 1944	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	1- * ^ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	○各章の「学習の前に」では、イラストなどが効果的に活用さ	れ、草全体の見通し
	をもって学習に取り組むように工夫されている。	○世〉→ 上川 河江
	○「章の学習を振り返ろう」において、意見交換を通して自分 ~、、、エキギャス	の考えを払け、除め
	ていく工夫がある。	
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	すけけれぶさきまめ
	○「アクティブ公民」や「未来に向けて」で学習した内容と関	
	に活用することで、生徒に課題を追究・解決する活動の充実 れている。	にフなかる工犬から
		載 「防災・減災を
	通じた社会参画」が掲載されている。	
資料	○二次元コードを利用することで、タブレットやPC等での資	料の閲覧 動画の視
	聴、振り返り問題の解答確認ができるようになっている。	作(*) 到 以
	○教科書全体の紙面はUDフォントを使用している。	
表記・	○ 1 単位時間の内容を補足する写真・図版資料を効果的に活用	し、「確認しよ
表現	う」・「説明しよう」を活用して、学習内容の確認と振り返	, , , , , =
	っている。	
	○最初に「学習のはじめに 夢にむかって」という記述があり	 、公民を学ぶ目的が
	記載されている。章のはじめには、単元を貫く「章の問い」	
総括	をもって学習に取り組めるようになっている。「アクティブ	,,, -, ,,
	立場の違いからの合意形成を目指す活動を通して、社会参画	· · · ·
	うに工夫されている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中学社会公民的分野	1 1 6
項目		日文
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○学習課題に対して、見開き右下「確認」により理解を確かにすを使って現実の問題に取り組む問いなどが示されている。 ○「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや活用に必要ないる。また、「シンキングツール」が設定され、適宜、効果的れるように工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○毎時間の終末に学習課題の確認ができるように「言語活動コーもに、「アクティビティ」など適宜設け、思考力、判断力、表習を促している。 ○各章末に「チャレンジ公民」のページを設け、各章の学習内容学習を通して、思考力、判断力、表現力等を育成するように工	日文 る活動や、その知識 な知識・技能を示して 力に技能を身に付けら ・ナー」を設けるとと ・現力等を育成する学 に関する事例問題の
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○コラム「公民プラスα」を設け、見開きページの学習内容に関げ、理解を深めることにより、学びに向かう力を高めるように ○各編の導入では、見方・考え方を深める漫画が掲載されており体的に学習に取り組めるようになっている。 〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○各編の冒頭に、その基本的な考えとなる「学習のはじめに」を	工夫されている。 、見通しをもって主
資料	い視野から捉えるとともに、「明日に向かって」を適宜設け、 る活動の充実を図る工夫が見られる。 ○巻頭「これからの社会をどんな社会にしたい?」、巻末「日本 本の人口を100人に縮めてみると」を掲載し、巻末では、日本 連する法令集が掲載されている。 ○「デジタルマーク」の掲載ページは、ホームページから理解を クシートを利用できるようになっている。	での現代史年表」「日 に国憲法をはじめ、関
表記· 表現	○教科書全体の紙面はUDフォントを使用し、重要語句は太字で ○○と示し、関連事項が分かるようにしている。 ○1時間単位の内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配	
総括	○紙面はAB版である。考えや技能を応用することのできる特認 レンジ公民」「情報スキルアップ」が設けられ、学習内容の理 コーナーとして「公民プラスα」や「アクティビティ」がある 用」では「シンキングツール」を用いたグループ学習が示され 考察で学びを深め、何を学んだかを捉えることができる。「明 学習した内容を活かし地域の抱える課題や将来について考え、 養うよう工夫されている。	解を助けるコラムや 。「学習の整理と活 、多面的・多角的に 日にむかって」では

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名		2 2 5
項目	新しい公民教科書	自由社
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開きページごとに「ここがポイント!を設け、要点をまと ○各章の終末の「学習のまとめと発展」では、各章ごとの最重 て示し、基本的な知識の定着を図るようにしている。	-
内容	 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○各章の終末に「学習のまとめと発展」の中で、「学習の発展表現するようにしており、思考力、判断力、表現力等を育成る。 ○「もっと知りたい」では、それぞれのテーマについて異なるて、多面的・多角的な考察ができるように工夫している。 	する工夫がされてい
71谷	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「ミニ知識」による補充的な資料や、「もっと知りたい」で て学習内容を深め、学びに向かう力を育成するように工夫さ ○各章の「学習のまとめと発展」では章の学習を発展させるた し、これまでの学習を活かしてまとめることで何を学んだか されている。	れている。 めにテーマを選択
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○歴史的な分野の背景を踏まえ、適宜、歴史上の人物を紹介し究・解決する活動を充実するような工夫が見られる。 ○「アクティブに深めよう」では、各章ごとの課題を追究・解図るための工夫がされている。	
資料	○巻頭に「すごいぞ日本の技術は」で世界に誇る日本の先端技る。巻末には、法令集の掲載、「日本の伝統的工芸品」が掲○掲示する写真は大きく見やすい。グラフは目的に応じて折れれぞれ使い分け、読み取りやすくなっている。	載されている。
表記· 表現	○本文は敬体で平易である。○各章の見出しは、白抜きで表記され見やすい。また、見出しの下に学習課題ができた。示され、重要語句は太文字で示されている。重要語句によっては、脚注で補助がなされている。	
総括	○紙面はAB版である。現代社会について、歴史的な分野と関を活用して学習させるようにしている。各章末の「学習のま重要語句を掲載し基礎的・基本的な知識・理解とあわせ、表ている。また、「もっと知りたい」や「アクティブに深めよ充・深化を図っている。終章のレポート、ディベート等、習し、学習内容を補足・深化させるよう工夫されている。	とめと発展」で、最 現力等の充実を図っ う」では学習の補

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	- ^ 新しいみん/J(/)が氏	2 2 7
項目		育鵬社
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○見開き2ページで構成されており、その学習課題に対して、習のまとめ」を設け、学習内容が理解できたか確認できるよ○章末の「学習のまとめ」で重要語句の確認、図中に語句を書ト等により、知識・技能を習得させる工夫がされている。	うにしている。
内容	 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「やってみよう」では、身近な祭りの調査、新聞の社説の比判決を考えようなど具体的に示し、思考力・判断力・表現力でいる。 ○見開き2ページの右ページ欄外「学習のまとめ」は、調べ学うようにも工夫されており、繰り返し思考力・判断力・表現している。 	の育成が図ろうとし 習や文章説明等を行
	としている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○各章の学習に興味・関心をもって取り組めるように「入り口に、「学習を深めよう」を設け、本文と関連する内容につい向かう力が高まるように工夫されている。 ○「つかむ・調べる・まとめる」の学習過程に沿って、物事の物事の因果関係を丁寧に述べた本文と図版や写真資料を活用涵養するための工夫が見られる。	て考え深め、学びに学習過程に沿って、
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○それぞれの学習内容ごとに、人物キャラクターによる疑問掲り、課題を追求・解決する活動の充実が図られている。	示等の投げかけがあ
資料	○巻頭「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲載するとともに、他らえる資料として「○○のこれから」を設けている。巻末にめざして」を掲載するとともに、日本国憲法をはじめ、関連役立つウェブサイトが紹介されている。	「持続可能な社会を
表記· 表現	○本文は、常体で、重要語句は太字である。側注に語句の解説中にp. ○○と示し、関連事項が分かるようになっている。○1時間単位の内容を補足する写真・図版資料が本文の周りにめよう」では学習内容を深められるような工夫がされている	配置し、「学習を深
総括	○紙面はAB版である。巻頭に「なぜ、『公民』を学ぶのか? る。そのきっかけとして「人生のモノサシ」で、自分の将来 せるようにしている。また、各章の始まりには「入り口」を ージを設け、主体的に取り組むようにしている。「やってみ ーマをもとに参加型学習を行い、個人と社会との関わりを中 うに工夫されている。	設計について考えさ 言語活動のできるペ よう」では様々なテ

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【地図(社会)】

書名	新しい社会・地図	2
項目	利しい社会・地区	東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○大きく「世界」と「日本」に分け、「世界全体の資料→世界と日本の流計資料の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資格とは、世界と日本の関連資料も随所に設け、世界や日理解するための工夫が見られる。 ○巻頭に「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」テーマ図、グラフ・写真資料などの具体的な活用事例を示した確実に身に付けるようにしている。	資料」の順に配列す 日本の地域的特色を を設け、一般図や
内容	○関連資料を示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連している。○地図帳で一緒に世界旅行をするという設定のもと、4人のキャラクターとして随所に登場し、地図の見方や課題を投げを多面的・多角的に捉えられるよう工夫が見られる。	上徒と2人の教師が
	○世界・日本それぞれに基本資料、テーマ資料を掲載し、キー 視点を示し、主体的な学習を進められるよう工夫が見られる ○それぞれの地域の特色を示す大きめの写真資料を多数掲載し 問や意欲を喚起する工夫が見られる。	5 .
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉	
	○巻頭に今日的課題である「持続可能な開発目標」(SDGs)を見社会の諸課題を捉え、解決に向けた態度を養えるよう工夫な○一般図では、ICT機器を使用して巻頭の二次元コードからツにアクセスでき、学習効果を高める工夫が見られる。	ぶ見られる。
資料	○巻末にテーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」を記した資料を探しやすいように工夫している。○日本の統計資料では、項目ごとに1位の都道府県の数値が記して事業をできるできる。	示字で示されている。
表記· 表現	○一般図で示した地域を世界または日本のどの部分にあたるのいる。○一般図は等高彩段で表現され、土地の起伏感が捉えられる。○地名の漢字にはすべてふりがなが付され、正しく読めるよう。	Dか位置図で示して ようにしている。
総括	○AB版である。興味・関心を高めるように、世界を中心になるとともに、日本とつながりの強い地域の大鳥瞰図を掲載したすくしている。キャラクターの吹き出しに読図や考察の地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表現力ので「持続可能な開発目標」(SDGs)を意識し、環境・エネルギー権・平和、伝統・文化、情報・技術等に関連した資料も充実	、地域をイメージ)視点を適切に示し、育成を図っている。一、防災・安全、人

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【地図(社会)】

書名	中学校社会科地図	4 6
項目		帝国
 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○大きく「世界」と「日本」に分け、「世界全体の資料→世界の一般図・資本の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資料」の順に配列ともに、世界と日本の関連資料も随所に設け、世界や日本の地域的特色であための工夫が見られる。 ○巻頭に「この地図帳の凡例」「地図帳の使い方」「国土地理院の地形図」し、読図や資料の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようにする工れる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「地図活用」を随所に設け、地理的事象や地域的諸課題を多面的・多角的させ、思考力、判断力、表現力を育成する工夫が見られる。 ○日本全体の資料では、項目ごとに「学習課題」を設け、思考力、判断力、をさらに深める工夫が見られる。 		」の順に配列すると地域的特色を理解す 院の地形図」を掲載ようにする工夫が見ら 面的・多角的に考察
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業のなどのイラー図があり、地域の特色が視覚的に捉えられ、体感でき、学習見られる。 ○それぞれの地域の特色を示す写真資料やイラスト等も多く、意欲を喚起する工夫が見られる。	意欲を高める工夫が
	〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉 ○一般図や資料図の随所に「二次元コード」が設けられ、IC して課題の追求や解決を充実させる工夫が見られる。	T機器を用いるなど
資料	○世界の資料図では、州ごとに日本との結びつきのテーマ図が、と日本の結びつきを深く考察する工夫が見られる。○統計資料では、州別(地方別)、項目別に色分けがなされ、は赤字、下位国の数値は青字で示している。	
表記· 表現	 ○一般図で示した地域を世界または日本のどの部分にあたるのである。また。世界の基本図には、同緯度・同縮尺の日本(南半さを示し、世界と日本を比較するようにしている。 ○一般図は等高彩段で表現され、土地の起伏感が捉えられるよの文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、地名の漢なが付され、正しく読めるよう配慮されている。 	球では同縮尺の日本)
総括	○A4版である。地域の結びつきをより重視した図取り、資料でい構成である。興味・関心をもって地図帳を活用するよう。 掲載し、地域をイメージしやすくしている。随所に「地図活を設け、地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表でいる。今日的課題である「持続可能な開発目標」(SDGs)の料や日本の防災に関する資料も多く掲載され、今後の日本やの観点もうかがえる。	に、鳥瞰図を豊富に 用」や「学習課題」 現力などの育成を図 の観点に基づいた資

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	新しい数学	2
項目		東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○数学的活動を通して、既習の知識と関連付けた深い知識	はや、様々な場面で
	活用できる技能を身に付けられるように工夫している。	
	○節末「基本の問題」、巻末「補充問題」では、本文対象~	ページが示され、振
	り返りができるように工夫されている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「深い学び」のページでは、生徒が見方、考え方を働か	」せた数学的活動に
	取り組み、思考力、判断力を養うことができる。	
	│○事象から問題を見いだし解決する活動では、「統合・発展	展」にあたる発問が
	あり、見方・考え方が働く深い学びができるよう工夫さ	-
内容	○「活用の問題」では事柄や事実、方法や手順、理由を数	
	述式問題があり、思考力、判断力、表現力を養うことか	ぶできる。
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○「深い学び」で身近な問題を解決したり、新しい数学 <i>の</i>	
	して、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよ	
	○「数学マイノート」「学習感想」では、自分の考えや他者	
	の過程での気づきをふり返り、さらに深められるように	
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成す	
	□○「深い学び」で主体的、対話的で深い学びができるよう	
	見通しを立てる→振り返る→深める」の過程に沿って、	問題発見・解決の
	過程を重視した数学的活動を説明している。	
	○導入の場面で日常生活や数学の事象を1コマのイラスト	、で提示し、字習へ
資料	の興味、関心を高められるよう工夫されている。	10 4 1 7 7 VA 401 20
	○統計資料には、最新のコンビニエンスストアの販売数な	
	使用されており、生徒が具体的に想像しやすいようにコ	-
± ∻1	○生徒に誤った理解やあいまいな理解を与えないように、	_
表記・	を入れて丁寧に説明し、生徒に抵抗感がないような表現の記号の記号は概念の中容な明確にした。 見なめなま	
表現	○記号や用語は概念や内容を明確にしたり、具体的な場面	『と関連付りたりし』
	て理解できるように工夫されている。	とね じの仕仕ませ
	1年生では、算数から数学へつなぐ単元「0章」が新設ではなると思います。 ている 第の道 7 ではな業的	
総括	抗なく取り組めるようになっている。節の導入では作業的	
	意欲的に取り組めるようにワークシート形式で構成されて 「揉去即題」では、其体其大の字美が図られ、「深い学び」	
	「補充問題」では、基礎基本の定着が図られ、「深い学び」 から 数学的活動を取り入れて学習が展開されてよるに構成	
	から数学的活動を取り入れて学習が展開されるように構成	くされている。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	巻学の 世目	4	
項目	数学の世界	大日本	
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉		
	○導入課題「考えよう」で既習内容との関連を重視し、学	4習活動は小問のス	
	テップに沿って、確かな知識・技能が身につくよう構成	えされている。	
	○「活動」「例」「例題」を適切に配置し、学習の流れか	ぶわかりやすく構成	
	されている。技能の確実な定着のために豊富な問題量か	が用意されている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉		
	○「判断しよう」「伝えよう」の問題を設定し、事象を数	対理的に考察する活	
	動を重視させ、論理的に考察する場面を設けている。		
	○思考力・判断力を高めるため、式、表、グラフを利用し	調査・説明する活	
	動や他者の考えと比較・活動できるページを各章に配置	置している。	
 内容	│○「活動」「Q伝えよう」「ふり返ろう」「学びにプラフ	く」で、数学的な表	
 1.1√□.	現を用いたコミュニケーション能力が伸ばせる場面が認	定されている。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉		
	○導入、利用場面での題材が身近なものから選択されてま	らり、身のまわりの	
	事象とのつながりが感じられるよう各章ごとに設定され	にている。	
	○節末「たしかめよう」で自己評価と定着のための取り組	且みと、章末「ふり	
	返ろう」では3観点に基づいた自己評価ができるよう認	定されている。	
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成す	るための工夫〉	
	○巻頭の「数学の世界へようこそ」で学習の進め方が詳し	く説明されてい	
	る。また、数学的活動への取り組みを明確化するために	こ 「問題を見いだそ	
	う」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよ 	こう」の4ステップ	
	で、分かりやすく説明されている。		
	○写真や図、イラストを効果的に用いて、課題や本文のイ		
 資料	くしている。特に、図形領域では写真を効果的に用いて	-	
	○身近で正確な新しい資料を取り上げるとともに、新聞記述	2事や自治体の広報	
	誌などの実感をともなう資料も用いている。		
	○全ての生徒が読みやすいように文節改行がなされている	•	
表記•	オント」を使用し、色覚特性に配慮した4色刷りを有効に活用している。		
表現	る。既習の用語・		
	記号を必要に応じ側注に示し繰り返し確かめられるよう		
	1単位時間分の学習内容が見開き2ページにまとめられて		
総括	度や個に応じて利用することができる様々な問題が設けら		
	な学習ができるよう構成されている。巻末には、「課題学		
	などが設けられており、日常生活との関連が図られている	0,	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中景技術等	1 1
中学校数学	中子仪奴子	学図
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○「小タイトル」を設け、学習内容を明確にしている。ノ	'ート形式の解答を
	示し、ノート作りを通して基礎基本の定着が図れるよう	工夫されている。
	○「ふりかえり」「確かめよう」「やってみよう」で、即	形習事項の確認、知
	識・技能の定着、習熟が図れるよう、数多くの問題が用	見意されている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「Q」に数学的な見方・考え方の例が示され、問題解決	そに向けて見通しを
	立て、筋道を立てて論理的に考察できるよう工夫されて	こいる。
	○「章のまとめ問題」「深めよう」で、数学を活用し考え	上判断し、日常の
	様々な場面で数学が生かされていることが分かる問題が	『配置されている。
 内容	○「表現する力を身につけよう」で、自分の考えをまとめ	り、他者に伝える等
1.1/11.	のアクティブラーニングとして協働学習ができるように	こされている。
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○「章のとびら」「役立つ数学」「さらなる数学へ」など	で、身の回りで数
	学が役立つ場面を多く取り上げ、数学の有用性を持たせ	けようとしている。
	○章の最後に、「できるようになったこと」で自己評価を	させ、学習意欲を
	もたせるため「さらに学んでみたいこと」を記入させる	らようにしている。
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成す	るための工夫〉
	○章のとびらで、日常社会の事象から、生徒自身が疑問を	ともつような展開に
	なるよう工夫されており、その事象を数学化し問題解決	やを図る展開になっ
	ている。「数学見つけた」「数学の力」「役立つ数学」	などでは、随所に
	身の回りで数学が使われている場面や役に立つ場面が認	けられている。
	○写真や図、イラストは興味・関心を高めるとともに、親	見しみのもてるもの
資料	を使用し、学習内容の理解の手助けとなるようなものを	と用いている。
RATI	○裏見返しにホワイトボードマーカーで書いたり消したり	できるページが添
	付してあり、個人での考察や、グループ討議のときに活	· ·
	○UDの観点から誰にでも見やすいように配慮されている	5。また、色遣いに
表記・	ついてもカラーUDの観点から、色覚特性にも配慮されている。	
表現	らされており、文字	
	の大きさや行間も、数式が組み合わさっても、見やすく	なっている。
	多様性を前提として、「つながる問題・役立つ数学」「伝	える力・聞く力」
総括	「環境・現代へ続く数学」をモットーとした問題解決能力	7の育成に力が入れ
№31¤	られている。また、小中高連携やプログラミング教育、S	SDGs(持続可能
	な開発目標)にも触れ、生徒の主体性が育まれるよう工夫	Eされている。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中字数字	1 7
項目		教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○「Q」「例題」「問」を設け、基本的な知識や技能が身	rにつけられるよう
	にしている。節末、章末で振り返り問題が多く設けられ	にている。
	○多くの問題と、関連する既習事項や、理解に課題がある	ものについては丁
	寧な表現で、本文や紙面に登場する生徒の発言でフォロ	1ーされている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○思考力が常に深まっていくように、対話形式でフォロー	-していくような工
	夫がみられる。また、支援例を提示するときには先生か	び登場している。
	○課題のプロセスが見える様に分かりやすい図を活用して	「いる。様々な意見
	の比較検討場面も描かれ、理解が深まりやすい構成にな	さっている。
) 内容	○「深めよう」で学習内容を深めたり、広げたりする課題	夏を設け、「話し合
1 3.1	おう」で話し合いによって課題を解決する問題を随所に	こ設けている。
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	│○すべてを例示せず、既習事項をもとに考えるよう構成さ	いれている。また、
	単元の導入や活用段階で問題を豊富に設け、考える機会	除が充実している。
	┃○答えを求めさせるだけでなく、説明する問いかけが多く	用いられている。
	数学が生活の中に生かされていることを実感する課題も	設けられている。
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成す	
	○生徒が取り組む課題は、単純で具体的なものが多く無理	埋なく取り組めるも
	のとなっている。学習内容にストーリー性があり、人物	の対話を入れるこ
	│ とで、学習内容がつながっていくように工夫されている	。身のまわりの課
	題を設けることで、数学の有用性も感じやすくなってレ	-
	○例題は、シンプルで分かりやすい図で構成されている。	
資料	をもつようにゲーム性が高い図や写真なども豊富に取り	
	○紙面に掲載されたQRコードを読み取ると、学習内容に	
	コンテンツが利用でき、効率よく学び進められるように	
	│○判読しやすい配色やレイアウト、図中のマークを大きく	, , , , , , , , ,
表記・ UDフォントで表記され、学びやすい紙面になっている。		
表現	○ふりがなが多めにつけられており、側注を設けて補足的	
	れている。また、適切な文節改行で、視覚的な配慮もさ	
	「対話場面の充実」「デジタルコンテンツ」を特色として	- 0
総括	振り返りや生徒のつまずきポイントのフォローなどを多く	
/νεν1□	基本的な知識・技能の習得にも力を入れている。また、診	説明する課題や論証
	など主体的に取り組める問題も多く掲載されている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	未来へ広がる数学	6 1	
項目	本木へ広がる数子	啓林館	
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉		
	○「章末問題」の「学びをたしかめよう」で基本的な事柄だ	が理解できているか	
	どうかを確認し、知識・技能の確実な定着が図れるようし	こ工夫している。	
	○数学を使った問題を発見・解決の流れが見える「ステッフ	『式」の構成により、	
	数学的に表現・処理する力を身に付けられるようにしている。		
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉		
	○問題解決に向け、学習した内容を活用して調べたレポー	ト例が掲載され、事	
	象を数理的に考察し表現する能力が育めるように工夫され	1ている。	
	○「?」のマークのところで問題を広げたり、深めたりする	ることで、自ら統合	
	的、発展的に考える力を身に付けられるようにしている。		
内容	○「説明しよう」「話しあおう」で、言葉や数、図などを適け		
	り、まとめたりする力を育成できるよう工夫されている。		
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	·) H= ()) H= ()	
	○「学びを生かそう」では、「社会科見学に行こう」など身近		
	数学を生活に生かそうとする態度を養えるように工夫されている。	-	
	○「自分から学ぼう」では、問題解決後、結果が得られた/ なく、		
	なく、結果を振り返り発展的に考えることができるようことができるようことができるよう。		
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する ○「数学ライブラリー」では、身近な生活や物語との関連を		
	知識を得たり課題を見つけたりして、数学を利用して身近な問題を解決しよ うとする態度を育てる工夫がされている。		
	○数学が使われている場面を学習内容と関連させてイラス	トで説明したり 木	
	文の説明を補うための図や表をカラーで効果的に表現した。		
資料	○統計資料は、生徒に身近な資料が使用されており、具体的		
	すいように工夫されている。	,	
	○「~します。」「~表しなさい。」など柔らかく表現されて	いて、「学びを生か	
表記・	そう」では「~表しましょう。」と表現されている。		
表現	○記号や用語を説明する文はアミを付けたり太字で印字したり、重要事項は枠		
	で囲むなどして、ポイントとなる事項がわかりやすく表記されている。		
	本冊が「みんなで学ぼう」「自分から学ぼう」の2部構成	になっており、学	
	習を振り返り、さらに学びを活かすことができるように構成し	戏されている。「学	
総括	びをたしかめよう」「学びを身に付けよう」「もっと練習し。	よう」で基礎基本の	
	定着が図られている。「数学ライブラリー」では、身近な事	象から数学的活動	
	を取り入れて、主体的な学習が展開されるように構成されて	ている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

書名	日々の学びに数学的な見方・考え方を	1 0 4
項目	はたらかせる これからの数学	数研
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○基礎的な概念や原理・法則の理解のために、章の始めの	「ふりかえり」で既
	習事項を確認し、また「例」の説明等はとても丁寧に書れ	かれている。
	○数学的に表現・処理する技能を身につけるために、代表的	的な問題を解答例と
	共に示したり、既習事項の振り返り学習ができるよう工具	夫されている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○事象を論理的に考察する力を養うために「Q」で課題に	関する問いかけを
	し、対話形式で数学的な根拠をもとに解決に向かう形式な	がとられている。
	○数量や図形の性質を統合的に考察する力を養うために「′	TRY」で課題を投
	げかけ、既習内容を活用し理由を説明する問いかけが設に	ナられている。
内容	○事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、数式	
	分の考えを数学的な言葉で表現する機会が豊富に用意され	れている。
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○数学の楽しさやよさが実感できるよう、身近な問題を取り	り上げて数学の有用
	性を感じさせ、粘り強く考えられるよう適宜ヒントが提売	_
	○問題解決の過程を振り返って評価・改善できるよう、時に	•
	誤った考えを述べ、批判的な考察ができるよう工夫されて	
	〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する	
	○数学的に考える資質・能力をバランスよく育成するためは	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	解決に向かう姿勢を、対話形式で掲載することにより、「	問題を数字的に解決
	するプロセスに焦点があたるように構成されている。	
	○挿絵・写真・図表等は、視覚的に理解しやすいように工芸	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
資料	をもてるよう、身近なものの写真が豊富に取り上げられて	
	○学習効果を高めるために、統計資料等はURLやQRコー	
	ンテンツとリンクして、分析・考察をしやすい工夫がされ	-
_1, →,	○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、UI	
表記・し、文字は大きめで色使いも見分けやすい表記になっ		
表現	○記号、用語、単位等の表現は、行間に余裕を持たせ、14 	丰生ではアルファベ
	ット表を載せるなどの配慮がされている。	アンカー 上仕 20日
	全体的に、対話形式で問題解決を進めるように構成されて	, , , , ,
総括	味・関心を持って課題に取り組むことができる。また、基礎	
	冊と、学んだ力を活用して探求的・統合的課題に取り組む短 細や生徒の出況に合わせた学びが進められることが特徴でき	
	級や生徒の状況に合わせた学びが進められることが特徴でる 	x) つ。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

書名	th ## *# ##	1 1 6
項目	中学数学	日文
項目	「知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などたり、発展させたりする機会を適宜設けている。 ○知識及び技能を習得する過程で生徒が考え説明したりけ、知識及び技能と思考力・表現力が身に付けられるよく思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○事象を論理的に考察する数学的活動の場面があり、「大ではどのように見方・考え方を働かせるかがわかりやすの数量や図形などの性質を見いだし、統合的・発展的に考め場面として、「深めよう」を適宜設けている。 ○数学的な表現を用いて説明する力を養うために、各小節きるかな?」を設けている。	での性質を見いだし する学習活動を設 う工夫されている。 切な見方・考え方」 く表現されている。 き察する数学的活動
	 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「学びあおう」で数学を活用して問題解決する方法を理解決するための構想を立て、実践、評価、改善できるよの巻末に「数学レポートを書こう」が設けてあり、数学的返り、レポートにまとめて成果を共有できる工夫がされる数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成すの巻頭で数学の学び方の概要を示すとともに、各小節の合おう」「深めよう」で、主体的・対話的で深い学びがなっている。 	う構成されている。 対活動の過程をふり れている。 るための工夫〉 「考えよう」「話し
資料	○キャラクター「マテマ」の吹き出しにより、視覚的、変を支援している。○統計資料などには、生徒になじみがあり、日常生活や初場面を取り上げ、情報活用能力を育成できるよう工夫される。	上会生活で役に立つ
表記· 表現	○初出用語や重要事項については、背景に色をつけたりつして強調するとともに、理解を助ける式や図などを添え ○特に定着しにくい表現については、具体的な用語の使いとして示すことで、理解を助けるように配慮されている	る工夫をしている。 v方を「表現の例」
総括	数学的活動を通した問題発見・解決の過程と学び方のポイ学の学習を始めよう」や、学習の振り返り方などを示したでは、数学の学習の進め方が理解できるように配慮されて見返しの「数学を見つけよう」では、身近な数学を写真で知的好奇心を喚起し、興味関心が高まるように工夫されて	こ「ノートの工夫」 こいる。また、巻頭 ご紹介することで、

書名	新しい科学	2	
項目	ANCO MATE	東書	
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各節に「課題」「課題に対する結論を表現しよう」が示され、結論るようになっている。章末や単元末、デジタルコンテンツで重要語している。観察・実験では手順をステップに分け、図や写真を用いの前及び巻末資料に「基礎操作」を設けている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考る。また、巻頭の漫画や各節ごとのフローチャートで探求の進め方の結論などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表明示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭で探求の流れを示し、その中で教科書の使い方を説明しているや「学びをいかして考えよう」などの項目があり、主体的に学習さている。また、生命の尊さや自然環境の大切さについて生徒自らが環境問題に関心が持てるようにしている。 〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○探求の過程がマークと脚注のフローチャートで示されており、探求た構成である。「問題発見」「構想」が配置されており、「理科のづいて、見通しをもって観察・実験するように配慮されている。 〈日常生活や他教科等との関連を図るための工夫〉 ○「つながる科学」において、日常生活や社会との関わりを紹介し、できるよう工夫している。算数・数学、社会、保健体育、技術・家た内容について、「○○で学ぶこと」とマークを付け、教科間の関配慮されている。 	一向や基本事項を確認 で示し、観察・実験 にないる。 ないででである。 でででいる。 を示している。 を示している。 を示している。 を示している。 をかっためのミカタし が考える場面を設け、 に対える場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を設け、 に対する場面を認する。 に対する場面を設け、 に対する場面を認する。 に対する場面を設け、 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を設け、 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対する場面を認する。 に対し、 に対し、 にがしが、 にがし、 にがしが、 にがし、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがし、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、 にがしが、	
資料	○日常生活や社会との関連がわかる「つながる科学」や科学技術を経世界につながる科学」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える ○動画による内容解説や練習ドリル、他教科との関連などを示した、 デジタルコンテンツ (D マークコンテンツ) の資料がある。	工夫をしている。	
表記•	○本文などに UD フォントを使用し、重要語句や式は太文字のゴシック体を使用している。 重要語句は振り仮名を付け、式は単位をつけて下地の色を変えて表記している。		
表現	○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助けを行う工夫をしている。また、領域ごとに課題や実験などを色分けして表示している。		
総括	○巻頭で探求の流れや教科書の使い方などを示している。単元配列に や内容の関連性を踏まえた配置となっており、生徒の科学的概念の る。○単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」「確かめと応用 活 ○巻末には「自由研究」「基礎操作」などがまとめられている。巻末 地学単元のペーパークラフトが付けられている。	形成に配慮されてい 用編」を示している。	

種目(教科等		4
項目	理科の世界 大日本図書	大日本
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各節(各項)に課題が示されている。各単元の最初と随所に既習章末や単元末で重要語句や基本事項を確認している。観察・実験用いて示し、観察・実験の近くや巻末資料の「基本操作」があり、画も設けている。	では手順を図や写真を
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えよう」を設け、 ントを示している。また、巻頭の「理科の学習の進め方」で探究にいる。更に、「振り返ろう」などでは、自分の言葉でまとめさせ、 現力を育成する場面が設けられている。	の流れや方法を示して
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭で理科の学習の進め方を示し、その中で教科書の使い方を説明している。。している。また、自然環境に関する資料に「環境マーク」を付け、てるようにしている。	習させるための工夫を
	〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○探究の過程がマークで示され、重点項目は色分けされており、探究を構成になっている。「問題を見つけよう」「計画を立てよう」で理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験がている。	が配置されており、
	〈日常生活や他教科等との関連を図るための工夫〉 ○「くらしの中の理科」において、日常生活や社会との関わりを紹定をできるよう工夫している。国語、算数・数学、美術、保健体で学習した内容について、「つながる」とマークを付け、教科間のう配慮されている。	育、技術・家庭、英語
資料	○日常生活での科学を紹介した「くらしの中の科学」「Science Preた「Professional」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝えるこの専用アプリ「COCOAR2」のARを用いた動画による内容説明、補助になどを示した、WEBサイトを活用したデジタルコンテンツが	工夫をしている。 説明やシミュレーショ
表記· 表現	○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック重要語句はふりがなを付け、式は単位を付けて表記している。○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助ける。また、全領域で課題や実験などの色を統一して表示している。	を行う工夫をしてい
総括	 ○巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などを示している。単元配を重視した配置となっており、観察・実験のしやすい時期や、学重なりなどに配慮されている。 ○単元末に「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を示している。 ○巻末には「自由研究」「基本操作」などがまとめられている。34め」では、1~3年の復習ができるようになっている。 	年による理科室使用の

書名	山学状科学	1 1
項目	中学校科学	学図
内容	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○1時間ごとに「この時間の課題」「この時間のまとめ」が示され、部分や随所で既習事項が整理されている。章末のQRコード教材で項を確認している。観察・実験では、手順を写真を用いて示し、信基本操作」を設けている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示して理科のトリセツ」で探究の進め方や方法を示している。更に、などでは、自分のことばでまとめさせることで、思考力や表現力でいる。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭の「理科のトリセツ」の中で、理科の学習の進め方と教科書である。各章のはじめと終わりに「Can-Do List」があり、主体的に学をしている。また、「Can-Do List」に生命尊重や環境保全の話題に関心がもてるようにしている。 〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○探究の過程がマークで示され、マークが矢印でつながっており、力した構成になっている。「気づき」「計画」が配置されており、方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。「資料」において日常生活や社会との関わりを紹介し、理科の有知工夫している。国語、数学、技術で学習した内容について、「つきないま」	で、重要語句や基本事 観察・実験の近くに ている。また、巻頭の 「しっかりふり返り」 を育成する場面を示し の使い方を説明してい で習させるための工夫 類を掲載し、環境問題 深究的な展開を基本と 「理科の見方・考え れている。
資料	クを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 ○科学と関連した働く人を紹介する「ミッション X」や、日常生活のた「サイエンスカフェ」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝え ○動画による内容解説やプログラミング教材、練習問題を示した QR ジタルコンテンツの資料がある。	D科学や歴史を紹介し える工夫をしている。
表記· 表現	○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック 重要語句は振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えてま ○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて思考の手助けを行 また、全領域で見出しや実験などの色を統一して表示している。	表記している。
総括	○巻頭で理科を学ぶ意義や教科書の使い方などを示している。単元 指導計画に沿って系統的に配置されており、初任の教師が構成を 慮されている。○巻末には内容は学年毎に異なり、「実験器具の操作」「周期表」。る。巻末にホワイトボード代わりのページがあり、学びの交換が ○単元末に「学びの深め方」「読解力問題」を示している。	理解しやすいように配 などがまとめられてい

書名	自然の探求 中学理科	1 7
項目		教出
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各節に「課題」「結論」が示されている。各章の最初と随所に既や単元末で重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では、け、図や写真を用いて示し、観察・実験の近く及び巻末資料に「る。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○ 観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示しの「探究の進め方」で、探究の流れや方法を示している。更に、えよう」などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力やを示している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○ 巻頭で探究の進め方を示し、その中で理科の学習の流れを説明しずり」や「チャレンジ」などの項目があり、主体的に学習させるたまた、自然保護や生命尊重に関わる内容を「ハローサイエンス」関心がもてるようにしている。 〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○ 探究の過程がマークで示され、紙面の両端に色帯が付けられておま本とした構成になっている。「疑問」「計画」が配置されておえ方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮 〈日常生活や他教科等との関連を図るための工夫〉 ○ 「ハローサイエンス」において、日常生活や社会との関わりを紹が実感できるよう工夫している。算数・数学の内容について、「シジ数学」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮 	、手順をステップに分 基礎技能」を設けてい こでいる。また、巻頭 「活用しよう」を有成する場面 でいる。「やってみよっている。「やってみよっている。「やってみよっている。で紹介し、環境問題に こり、「理科の見方・考されている。 でれている。 のし、理科の有用性ブリッジ算数」「ブリッジ算数」「ブリッジ算数」「ブリ
資料	○科学技術と社会生活、自然、歴史、職業との関わりを示した「ハ・載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。○動画による補足説明や科学に関する情報を示した、QR コードを活ンツ(まなびリンク)の資料がある。	, ,
表記・	○本文などに UD フォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック 重要語句は色を変えて振り仮名を付け、式は単位をつけて下地の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
表現	る。 ○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助けを行う工夫をしてい る。また、全領域で課題や実験などの色を統一して表示している。	
総括	○巻頭で理科を学ぶ意義や探求の進め方などを示している。単元配期や学習内容のつながりを考慮した配置となっており、地域や学校計画を立てられるように配慮されている。○単元末に「要点と重要語句の整理」「基本問題」を示している。○巻末には「学年末総合問題」「基礎技能」などがまとめられていて、で用いる厚紙のカードやシートが付けられている。	交の実態に応じた指導

書名	未来へひろがるサイエンス	6 1
項目	木木へいつかるサイエンス	啓林館
 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各節に課題が示されている。QR コンテンツや各章の最初と随所に既習事項が末や単元末、QR コンテンツで重要語句や基本事項を確認している。観察・実をステップに分け、図や写真を用いて示し、観察・実験の近くに「観察・実ル」やQR コンテンツの動画を設けている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示している。ま「探Qシート」を用いて、探究の進め方や方法を示している。更に、「探Q 実験」、「表現してみよう」などでは、自分の言葉でまとめされるこ 		
内容	力や表現力を育成する場面を設けている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭で探究の過程を示し、その中で教科書の使い方を説明している。 Q実験」を設定し、巻末の「探Qシート」を活用して主体的に学行している。また、自然環境に関する題材に「環境マーク」を付け、てるようにしている。 〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○探究の課程がマークで示され、マークが帯でつながっており、探察た構成になっている。「疑問」「考えてみよう」が配置されており、	習させるための工夫を 環境問題に関心がも 究的な展開を基本とし
	え方」を働かせ、見通しを持って観察・実験ができるように配慮されて関連を図るための工夫〉 ○科学コラム「○○ラボ」では日常生活や社会との関連を示し、理解をよるよう工夫している。国語、社会、算数・数学、家庭、英語で学習「○○と関連」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう	科の有用性が実感でき 習した内容について
資料	○科学と部活、職業、食生活、自然との関連を示した「科学コラム」や、科学史に関する 話題を示した「科学史」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○動画による内容説明、既習内容や学習内容の確認を示した QR コードを活用したデジタ ルコンテンツの資料がある。	
表記・	○本文などに UD フォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック 重要語句は振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表	11 - 2 - 3 - 3
表現	○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助けを行う工夫をしてい る。また、領域毎に実験などを色分けして表示している。	
総括	 ○巻頭で探究の課程や教科書の使い方などを示している。単元配列が指導順序の入れ替えが自由に行えるような配置になっており、2章対応できるように配慮されている。 ○単元末に「学習のまとめ」「力だめし」「みんなで探Qクラブ」を受表には「学年末総合問題」「サイエンス資料」などがまとめられての「探Qシート」が付けられている。 	学期制や3学期制にもを示している。

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【一般(音楽)】

書名	力学拉弃赛 弃塞のむ人U+の	1 7
項目	中学校音楽 音楽のおくりもの	教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○教科書は、全体的にユニバーサルデザインが意識されて	おり、目に優しい配色
	と、授業別に表示された目次がとても見やすくなっている	た。特に創作の授業に
	おいては、リズム創作をメインにわかりやすい例の表示。	と、アクティビティー
	が段階を追ってできるよう説明が工夫されている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○一つの教材に対して、その教科書の中にある別の教材との	の比較ができるように
	作られている。様々な教材と関連付けができており、生行	徒の思考力に働きかけ
	ることができ、そこから表現に生かす手立てを考えるこ	とにつなげていくこと
	ができる。	
 内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
1.151.	│○鑑賞教材において、楽譜を用いて解説されているページス	が多く、作曲者の意図
	などを楽譜から読み取れるよう書かれており、わかりや	すい。
	〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉	
	○生徒の変声期などを、丁寧に説明している。日本歌曲の詠	選曲も良く、発達段階
	に沿ってると感じた。	
	〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成す	するための工夫〉
	○アウトリーチの活動を取り扱っている点において、中学村	交を巣立ってからも、
	音楽と関わって生きていくことを視野に入れているとこん	ろが良い。
	│○日本音楽の伝統を守っていく大切さと、その意義や重みレ	こついて明確な言葉で
	表現されていた。(国歌のページや、伝統音楽のページな	,
	○コンピューター音楽や、著作権についてもわかりやすく	説明されている。
	○表紙のデザインが、和楽器、ジャズ、オーケストラ、歌 [□]	
資料	でデザインされていることが良い。ユニバーサルデザイン	ンを意識した配色とペ
	ージごとの関連が工夫されていた。	
表記・	○生徒に語り掛ける言葉で、表記されている。	
表現	○共通事項を活用できる工夫がなされており、評価項目もラ	考えやすいつくりにな
	っている。	
	○新学習指導要領の内容を踏まえた、大幅な改定と一つ一	
	の進め方がわかりやすく提示してあるため、順を追ってi	進めると授業の形が明
総括	確に出来上がってくる表記である。	
	○教材ごとの比較ができるようになっており、伝統音楽になっており、伝統音楽になっており、	ついても鑑賞と歌唱の
	両方からのアプローチがなされている点が良い。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【一般(音楽)】

書名	中学生の音楽	2 7
項目		教芸
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各題材で、主体的に学習に取り組むための学習目標、目標に学習活動、音楽を形づくっている要素が示されている。 ○表現活動と創作活動、表現活動と鑑賞活動のつながりがある 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「深めよう!音楽」では、音楽を形づくっている要素を感説明する活動に各学年で取り組めるようになっている。また合い活動が活発に行えるよう工夫されている。 ○「曲のよさをプレゼンしよう」では、曲の良さが伝えられる表現できるようになっている。様々な楽曲において活用する 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○3年生の教科書では、「社会を映し出す音楽」を設け、クラー音楽など多彩なジャンルの作品を紹介する資料があり、 	こ迫るための具体的な る。 じ取って聴き、言葉で た、グループでの話し るよう、自分の思いを ることができる。 ラシック音楽やポピュ
内容	に親しめるよう工夫がされている。	
	〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉 ○各学年に「My Voice!」を設け、変声、歌う時の姿勢、息の方についてイラストを交えて示されている。 ○各学年に「My Melody」を設けて、音のつながりやコード進創作を取り組めるようになっている。「Let's Create!」がが選択され、リズムアンサンブルを取り組めるよう工夫をつりズムゲームでビンゴがあり、生徒が関心を持って音楽のできる。 〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するの「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマが設め活や社会との関りについて、徐々に視野を広げて考えられる。 ○著作権について取り上げられ音楽の取り扱いについて考える。	行、構成音に着目しでは、段階を追って教がされている。 基礎を確認することが ためのエ夫〉 ナられ、音や音楽と生るよう工夫されてい
資料	○教材の特徴が捉えやすくなるよう、写真や図が多く掲載され 文化や歴史に関する情報が示されている。	れており、様々な音楽
表記· 表現	○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真○キャラクターを使って吹き出しが示され、生徒に問いかける。○表紙は生徒が興味関心を持てるような親しみやすいデザイン○西洋音楽・日本音楽の比較ができ、写真が多用されており。	たり説明したりしてい ンになっている。 とても見やすい。
総括	○学年に応じた歌唱曲、鑑賞曲、創作活動が取り上げられている音楽を形づくっている要素について、詳しく説明されている○「君が代」の楽譜と一緒にオリンピック・パラリンピックの生徒の興味関心に寄せた写真が掲載されている。	5.

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【器楽(音楽)】

書名	中学校器楽 音楽のおくりもの	1 7
項目	中子校倫末 自未のおくりもの	教出
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○学びの狙いが明確に示されており、実践的活動においてのゴールがわかりやすく表示されている。 ○リコーダーではソプラノとアルトの比較が1ページ内で見られるようになっている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○一般的に器楽の導入では、耳なじみのある楽曲を取り扱うが、楽曲は生徒の思考力・判断力に働きかけるようにオリジナル曲が作成されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○教科書の冒頭になぜ音楽を学ぶかなど、生涯にわたって音楽を学習することを意識づけるような工夫が施されている。 	
	〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉 ○演奏する楽曲の難易度は、ページに従って上がっている成とともに、常に想像力を働かせるような教材が提示さけ姫、こきりこ節など) 〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成の邦楽の音楽に使用されている楽器について、詳しく書から、フェティに富んだ邦楽器の説明があり、自由に選択であ点が良い。実際に演奏できなくても、楽器について、	されている。(ものの はするための工夫〉 いれている。 ごきるようになってい
資料	○コード表一覧が、目にも優しい配色で、大変見やすくま○楽器ごとの形の違い、大きさの違いがわかりやすくレー	
表記· 表現	○楽譜にはコード進行が記載されている点、伴奏付けなるなどにも活用できる点が良い。○奏法と楽譜が同時に見られる点などは、従来あまり見らかりやすく生徒自身が考えながら学べる工夫がされている。	られなかったので、わ
総括	○楽曲の選曲にオリジナリティがあり、かつ、ただ演奏でな力が身につく工夫がなされている点が良い。○能力の段階にそれぞれの楽曲が対応している点が良い。○合奏曲には多少自由度が高く、コード進行などを考えたできる点が良いと感じた。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【器楽(音楽)】

書		2 7		
名 項目	中学生の器楽	教芸		
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで示され、楽器の構え方についは、複数の角度から写真が掲載され、奏法等の説明がされている。奏法の法などが細かく記されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉			
	○各楽器の演奏のポイントが具体的に示されている。特にアル難しい部分を丁寧に Q&A の形で示されている。	レトリコーダーでは、		
〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○リコーダーやギターなどの楽器だけでなく、筝や三味線、太鼓、篠笛、 楽器など様々な楽器を取り上げている。アンサンブルの楽譜などもあり ジャンルの音楽に触れられるよう工夫されている。				
	〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉 ○リコーダーの楽曲はページの両端に運指が示され、運指の確 うになっている。	雀認がすぐにできるよ		
	〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する ○「バンドの世界をのぞいてみよう」や「同世代の音楽活動」 音楽を取り上げ、音楽が社会の中でどのような意味や価値を えられるよう工夫されている。	など、生徒に身近な		
資料	○リコーダーの運指表やギターのコード表、楽器一覧、音楽の すぐにわからない運指などを確認できるようになっている。			
表記· 表現	○和楽器においては、五線譜と和楽器固有の楽譜と奏法が示る○楽器の基本的な奏法が写真やイラストを使って説明されている	-		
総括	○アルトリコーダーに関する内容が多く、さまざまな楽曲が見また、新しい運指が出てくるたびにすぐに確認できるようり○演奏技能の習得に重点を置き、学年の段階を経て学習を行う	こなっている。		

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名	*	9
項目	美術	開隆堂
内容	(知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○小学校で学んだことを踏まえ、学びの地図として全体像を捉え、各題材で、ヒント、用語等、端的に説明・表示し造形的視点が広がる工夫がある。 ○題材と関連づけ「学びの資料」が巻末に設けられ、技法、用具、関連作品など詳しく表記され、生徒が創造的に表現できる工夫がある。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○表現や構想を練る目標が示され、「学習のポイント」では表現でのヒントを提示することで、生徒が豊かに発想し構想する手立てとなっている。また、目標は「ねらい」と「ふりかえり」にも連携する内容でもあり、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫ともなっている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○題材の説明文は、「共通事項」を意識しねらいや思いを表現へとつなげる内容である。ジャンルごと鑑賞学習の流れを示し、多岐に渡る創造活動も網羅することで生徒の感性を高める内容となっている。	
	 ⟨一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫⟩ ○作品の大きさを含め、マークや表記の大きさ、配置の工夫が品以外の色合いも控えめにし、イメージが捉えやすいよう工 ○鑑賞作品は、部分の拡大等、画質や質感まで感じ取れる構成「学習のポイント」で見方や感じ方も示し自分の価値観を大の充実が図られている。 ○国際性、郷土愛を育む視点や、実生活の中で実際に使われてを広く紹介し、美術を通して学ぶ魅力を伝える工夫がされて 	夫されている。 となっている。 r切にした鑑賞 いるものなど
資料	○ICTやアニメなど表現方法を広げる資料も掲載し、生徒の広げる工夫がある。○題材に関連した作家・生徒作品を掲載し、QRコードからはの紹介等へのリンクがあり、表現や鑑賞を支援できる内容で	は美術館や作家
表記· 表現	○題材名は、意味を考えたりイメージの広がりが意識できるよいる。マークが多様され目標・ポイントが捉えやすいようエ ○各ページ下に教科マークを示し、他教科と関連づけ分類し学 学習を深める手立てとなっている。	夫されている。
総括	○「美術1」「美術2・3」の2冊構成であり、インクルーシ に配慮した色彩表示、ルビふり等、多様な個性の生徒にも見 となっている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名	= ~~	3 8
項目		光村
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各題材で作家の作品を中心に添え、関連した生徒作品の掲載発想のヒント等を示すことで、造形的見方や視点を感じとれ ○「学習を支える資料」は技法や用具の使い方説明と動画にも鑑賞資料も掲載し基礎基本の知識・技能が習得できるよう工 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 	る工夫がある。 」リンクでき、
	○「みんなの工夫」として生徒の実際の制作過程を丁寧に掲載 現」マークから発想・構想でのヒントや工夫点などを示する 思考力、判断力、表現力等を育成する工夫となっている。	
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○「うつくしい!」では詩を交えた美を紹介し、「日本の世界」 域と美術のつながり」「美術の力」など社会へ広がる美や側 ことで生徒が心豊かに創造する態度の工夫がなされている。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	 ⟨一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫⟩ ○「共通事項」を意識した各題材での作品提示と、発想や構想の言葉や生徒作品の紹介からイメージが捉えられるよう工夫 ○生徒の制作過程を発想から完成まで制作風景やコメント等を生徒が共感できる場面を具体的に示すことで言語活動の充実う工夫されている。 ○SDGs (接続可能な開発目標) など17の目標からの社会も意識した内容となっており、知識・理論の学習に偏りがなれている。 	きされている。 と多く掲載し、 このつながり
資料	○「映像メディアの活用」でICTを使った映像表現の広がりや活用についての充実が図られている。○題材によってQRコードを掲載し、作品の360度動画や作品説明音声、技法動画等視聴でき、表現、鑑賞の支援ができるよう工夫されている。	
表記· 表現	○表現、鑑賞のページでは「鑑賞」マークを入れ鑑賞を通したかけ表現と鑑賞が相互に補完できるよう工夫されている。○二つ折りページや原寸大の資料、印刷物を和紙風にする、トーパーでの書き込み資料など「風合い」を生徒に体感させる。	、レーシングペ
総括	○「美術1」「美術2・3」の二冊構成で、時代や題材のイス作品の選定、鑑賞と表現が生徒の創作活動に呼応するようなケッチ・言葉を示し、全体の流れの共通化が図りやすい教科	は生徒作品・ス

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【美術】

書名	美術	1 1 6
項目		日文
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○生徒の作品を大きめに多数掲載し、生徒の言葉や作品説明、	「共通事項」
	を取り入れた説明文から、造形的な広がりが持てるよう工夫	らされている。
	○「参照」マークから「学びを支える資料」と関連づけた学習	引ができる工夫
	があり、補足的に表現手順等詳しく示すことで基礎・基本の	の知識技能が習
	得できるよう工夫している。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「造形的な視点」は、「共通事項」を視点としての着目内容	Fであり、イメ
	ージや印象を訴える解説文も踏まえ造形的活動を広げる工夫	ことなってい
	る。また生徒の作品掲載とコメントや発想を広げる説明文で	ごの投げかけ等
	から、思考力、判断力、表現力等の育成工夫となっている。	
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○「あなたらしさを見つけて」等、生徒が自分自身をみつめ創	
	工夫と、「学びの言葉」など社会人からのコメントや美術が	
	れている作品も紹介し美術での感性を豊かにする内容となっ	っている。
	〈一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫〉	
	○平面、立体作品を問わず幅広いジャンルの作品を生徒や作者	新の言葉と共に
	掲載すると共に、巻末資料の充実が図られ造形的な特徴など	ごも捉えながら
	自分の作品作りにつながるよう考えられている。	
	○自分の価値観を持ちながら話し合う活動場面写真や生徒の言	言葉を使ったコ
	メントを入れることで、言語活動の充実が図れる工夫がある	
	○「あなた」「私へ」「笑顔」「みんな」等の言葉を題材にフ	
	楽しさ自由に創作できる雰囲気を示し理論などに偏らない画	
	○「動画をつくる」などICTの活用や、QRコードから生徒	を と と と と と と と と と と と と と と と と と と と
資料	説動画が参照でき、表現・鑑賞の支援ができる工夫がある。	
	○2つ折りの鑑賞資料や原寸大作品も掲載すると共に、ESD	
	資料や他教科との連携も図り生徒の興味関心を広域に広げる	
表記· 表現	○題材名の上段に活動内容や目的を示すサブタイトルを表記し	/、学びの手立
	てが理解しやすくなるよう配慮されている。	
	○三つの柱に基づいて「学びの目標」が示され、生徒が振り返 トスプログログラストル	区りや目己評価
	する際への手立てとなっている。	
	○「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の三冊構成で	
総括	線での題材名や投げかけ、生徒作品の紹介を多用し短時間教	材も取り入れ、
	生徒の発達段階に応じた学びが育める教科書である。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	名	2
項目 新しい 休1 健1 本	新しい保健体育	東書
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○1見開き(1単位時間)のキーワードを示し、学習の対すくなっており、習得した知識・技能を活用してより認になっている。 ○各章末の「確認の問題」では、知識の習得状況を確認すうになっている。 ○技能を映像で確認できるデジタルコンテンツが用意される思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○各単元の活動「見つける」「課題の解決」「広げる」にップに応じて思考力、判断力、表現力を育成できるようている。課題の合理的な解決に向けて、自他の生活に当ている。課題の合理的な解決に向けて、自他の生活に当り、表し、保健体育の学習に主体的に取り組めるよう配慮されて、保健体育の学習に主体的に取り組めるよう配慮されて、の意欲を喚起するように工夫されている。 〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツラ質・能力を育成するための工夫〉 ○「見つける」「課題の解決」「広げる」の活動をとおして見つける」「課題の解決」「広げる」の活動をとおして 能力によって、現在及び将来の生活において、健康に関 	ポイントがわかよう ポイントがわれるよう。 まく考えとができるよう。 は、それでいる。 は、発問がながられている。 は、な発問がながられている。 は、な発問がながられている。 は、なするではある。 は、なするではある。 は、なするではない。 は、なするではない。 は、なずれではない。 は、ながれている。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれていた。 は、ながれた。 は、ながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが
資料	科学的な思考と正しい判断の下に適切な意思決定・行動に実践していくことができるように工夫されている。 〇巻頭、巻末には共通の視点を重視しスポーツをとおした紹介した口絵、各章末には今日的な課題に対応した資料の学習内容に関連する動画やシミュレーション、他教科の二次元コードとともに簡単にアクセスできるようになる。	と多様な関わり方を が掲載されている。)教科書紙面などが
表記	○ユニバーサルデザインの視点から、教育漢字以外の常用がなをつけ、紙面の色数を限定するなど、誰もが見やすている。	
表現	○発達段階に応じた適切な用語で簡潔明瞭に表現されている。○キーワードはゴシック体で区別され、巻末に「キーワードの解説」が設られている。	
総括	教科書とデジタルコンテンツがリンクしていて、具体的声で伝える動画教材や、数値を入力したり画面をタップしきるシミュレーション教材などが充実している。学校だり手軽にコンテンツを呼び出して学びを深めることができ、べる教科用図書である。	たり、思考錯誤で けでなく、家庭でも

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	中学校保健体育	4
項目		大日本
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○各小単元の本分で基礎的・基本的な学習内容を分かりや	すい言葉で明示し、
	学習すべき内容の確実な習得が図れるようになっている) ₀
	○まとまりのある本文・資料により、生徒が授業前や授業	美後に自学自習を行
	いやすくなっている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	│○各小単元では、課題を発見する活動「つかもう」、課題を	を解決する活動「や
	ってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう	
	を活かす活動「活用して深めよう」などの活動により、	思考力、判断力、
 内容	表現力等を総合的に育成されるようになっている。	
四台	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○□絵では、生徒が保健体育を学習する重要性を理解し、	,
	捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようにな	
	○導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材や自分	
	り上げており、主体的に学習に取り組む態度を育むこと	:ができるようにな
	っている。	
	〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツラ	7イフを実現する貸
	質・能力を育成するための工夫〉	
	○主体的で・対話的で深い学びを通して、課題を解決し、	学びを生活に活か
	すことで、現在から未来へと「生きる力」が身に着くよ	うに工夫している。
	○紙面に2次元コードを掲載し、ホームページ上にウェフ	ブコンテンツを用意
	し、学習をより理解したり、広げたりすることができる	ようになっている。
資料	│○イラストや写真が生徒の学習意欲を喚起したり、興味・	関心を引いたりす
	るようなものに厳選されている。	
	○グラフや表が視覚的に捉えやすいように工夫されている	
表記	○見開きページの左半分が本文、右半分が資料という構成	,,
衣記	○生徒の発達段階を考慮して、平易でわかりやすい表現に	
• 	○常用漢字、現代仮名遣いを原則とし、教育漢字以外には - 初川ごりに、こればわたのはていて	1、見開さペーンの
表現	初出ごとに、ふりがなをつけている。 ○記れ関な広く記は、末期力な言められてよるにしている	
	○記入欄を広く設け、表現力を高められるようにしている	
総括	生徒が学習の流れを理解し、見通しを持って学習を進め	
	うになっている。各章末の「学びを活かそう」では、自ら	
	主体的に取り組むなかで、資料から読み取り、仲間と話し	
	深い学びが実現できるようになっている。学習したことを	他の教科に沽かし、
	家庭や地域で活用できるような工夫がされている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	最新 中学校保健体育	5 0
項目		大修館
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○「キーワード」欄と本文中の基本的な知識の重要語句がで表記され、学習時間のおわりに「学習のまとめ」ですうに工夫されている。○学習冒頭の「課題をつかむ」や「学習のまとめ」にやっおうなどと投げかけがあり、特集資料、クローズアップージでも知識技能の習得ができるようになっている。	けぐに復習できるよってみよう、話し合
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「課題をつかむ」「学習のまとめ」で意見を出そうや、 スしてみよう、話し合おうと、表現する機会を設け、** レイ、「章のまとめ」の問題に表現させる機会を用意し	持集資料にロールプ
 内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
r 14	○「ほり下げる」の項目は更に興味を沸かせ、「コラム」 を得られそうな人物や実例に基づくエピソードを取り」 得への導きや人間性が学べるように工夫されている。	
	<生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツラ	ライフを実現する資
	質・能力を育成するための工夫〉	
	○健康安全について科学的に理解できるよう、グラフの資力ラー写真やわかりやすいイラストを多く提示している○体育分野と保健分野の関連を図れるよう、本文に体育のの時の様子を例示している。○オリンピック・パラリンピックでの競技中の写真を多くの方、高齢者の方、昔や今の写真やエピソードを多く扱	5。 D授業、運動部活動 (使い、さらに外国
	ーツの意義や多様性、生涯スポーツにつなげようとする	
資料	○本文は短くまとめられ、資料を大きめに配置するなどしている。○「課題をつかむ」から「学習のまとめ」まで一連の流れキーワードが確認できたり、「特集資料」や「章のまとれている。また、ページ下の「web 保体情報館」マーク欄で更なる情報や知識を習得できるようになっている。	いができ、毎時間の とめ」問題も用意さ アや「掘り下げる」
表記・		ó.
総括	○関連したイラストや写真が多く、それでいてうまくレイ 内容も「課題をつかむ」から「学習のまとめ」で統一し 取り組ませやすい。「コラム」などの資料では同世代(外国で活躍しているスポーツ選手、歴史を学べる資料を 興味を引き深まる内容が多く、生徒が興味関心を抱き、 教科用図書である。	ンて学ばせる流れが中学生)の実情や今 と取りあげるなど、

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	一、 一 最新 中学校保健体育	2 2 4
項目		学研
TX II	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○「キーワード」欄にある基本的な知識や重要語句が、本く太字で表記されている。「課題をつかむ」「まとめるで、どうしますか、…してみましようと考えを深める機の1単元の最後の「探求しようよ!」の項目でロールプレまとめ」『生かそう』の問題や、「実習」マークの項目させる機会を盛り込んでいる。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○「課題をつかむ」「まとめる・深める」で意見を出そうてみよう、話し合おうなどの投げかけが多くある。 ○「探求しようよ!」で、ロールプレイなどをあげ、他者用意している。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	文中にわかりやすら・深める」の項目 と会を設けている。 一人の実践、「章の目で技能習得に挑戦 ので技能習得に挑戦 ので、アドバイスし が、アドバイスし がとの関わりの場を
内容	○「考える・調べる」コーナーで、進んで学習に向かえるまた、「情報サプリ」で更なる知識習得を促し、「もっのページを設け、興味関心を高めさせている。 ○「ひと」の項目では最前線の人物の記事を載せ、「コラげて、教訓や生き方を学べる資料を示している。 〈生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツラ質・能力を育成するための工夫〉 ○健康安全について科学的に理解できるよう、実物の写真	らと広げる深める」 ラム」では実例をあ ライフを実現する資
	れている。 〇体育分野と保健分野の関連を図れるよう発育・発達につまとめ」『生かそう』の問題で取り上げている。また、でみる保健体育の学習内容」のページに関連を示してい〇様々な分野の健康安全・スポーツに関わる人物を取りよりできるよう工夫している。 〇「課題をつかむ」から「考える・調べる」「まとめる・の流れの中で、キーワードや関連資料がそのページ内になった。	巻末「キーワード」 いる。 こげ、「探求しよう をや多様性の理解が 深める」まで一連 こわかりやすく配置
資料	されている。また、学習が深まりやすいグラフや実物のいイラストが多い。 ○マークで特集のページに導いて更なる理解を深められる 関連の深い資料を提供する工夫がある。 ○本文と資料が均等にうまく配置され、文字も大きく、賞	らようにするなど、
表記· 表現	分けがされ見やすい。文章、です・ます調で統一されて じ色のデザインマークで示されていて資料が探しやすい ○各所のマーク自体も工夫されていてわかりやすいし、さ にリンクするように組み込まれている工夫がある。	ている。本文中の同 ^。 * まざまなページ等
総括	○見やすいレイアウトで内容も「課題をつかむ」から「まで統一して学ばせる流れが取り組ませやすい。「口絵」につながる幅広い分野からの視点で提示したり、章の扇最前線の「ひと」を扱い、また、各資料や特集ページ、にリンクできる工夫があるなど、生徒が自ら興味関心をに活用できる教科用図書である。	ではバリアフリー 尾では情報の新しい ウェブサイトなど

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名	並しい北海南京北海八郎	2
項目	新しい技術・家庭 技術分野	東書
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されており、技術の仕組み、問題解決、社会発展とわかりやすく構成されている。また、技術の見方、考え方や内容も学習の進め方など、まとめについてもしやすくなっている。 ○生徒の興味・関心を引くような、様々な参考例や写真などがあり、視覚的に訴えかけ、問題解決に取り組めるよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒の考え方を示す内容が掲載され、「問題解決カード」として該当する部分に表示し、話し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。 ○課題解決的な学習が進められるよう工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○技術の進歩と社会や環境との問題を提起し、考えていくことやバランスのあり方にも目を向けている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、これからどのように生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見られる。 〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫〉 ○環境問題やSDGsの取組が示され、生徒も社会の一員であることを意識 	
資料	させる内容が盛り込まれている。 ○環境に対する情報や、これからの課題などについて掲載の将来に向けて考えられるよう工夫されている。 ○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。 ・ 文章と共に関連付けて見やすくしている。 ・ 「技術の工夫」など参考資料が付いており、生徒がいる。	いる。図やイラスト
表記· 表現	成となっている。 ○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の表記がしてあることにより、他分野や他教科との関連が分かりやすくなっている。 ○領域ごとに色分けされ、すぐに目あてのページを開きやすくなっている。 ○AB版で今までよりサイズが大きくなり、文章と図などの配置が見やすい。	
総括	○学習に対する考え方がわかりやすく、写真や図なども見ている。基本的な知識や技能の習得、学びに向かう力な合わせることができるものとなっている。学習内容の確わかりやすく構成されている。	さど、生徒の実態に

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名	NEW 技術·家庭 技術分野	6
項目		教図
内容	(知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○内容が「つくって・育てて学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」と順序良くわかりやすく構成されている。学習の進め方などがしやすくなるよう工夫されている。 ○視覚的な要素として、様々な図や写真などが掲載され、生徒の理解を支えるよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒への課題や問題提起がなされ、具体的な話し合いなどがしやすくなっている。実物を用いた説明などもわかりやすく工夫されている。 ○「学んだことをまとめよう」で、課題解決的な学習が進められるように工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○学習の楽しさや技術が果たす役割などの表現に工夫が見られる。これからの新しい社会に向けての考え方の参考になる。 ○環境問題など、生徒が社会の一員として考えるべき内容が盛り込まれている。	
	〈技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深め ○ガイダンスの項目で、幅広く社会の状況や技術の歴史なる経緯などをわかりやすく説明している。 ○環境に対する考え方や、これから取り組むべき課題などでおり、将来に渡って考えられるよう工夫されている。	まど、今の時代に至
資料	○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。文章と共に 連付けて見やすくしている。	
表記・表記・表現		
総括	○学習の進め方の流れが分かり、写真や図なども大きく見ている。基本的な知識や技能の習得については、生徒のとができるものとなっている。学習内容の確認がしやする。	つ実態に合わせるこ

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【技術分野(技術・家庭)】

書名	書名	
項目	技術·家庭 技術分野	開隆堂
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されておりがわかりやすく表示されている。また、内容も順序良く学習の進め方やまとめなどがしやすくなっている。 ○生徒の興味・関心を支えるため、様々な参考例や考えたの考えを実現できるよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒の考え方や方向性を示す内容が掲載され、課題に関し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。 ○課題解決的な学習が進められるようになっている。 	構成されており、
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○学習してきたことが、わかりやすく将来に生かせるようこれからの新しい社会に向けて自分が何をすべきか考えている。 ○技術の進歩と社会や環境との問題を提起し、考えているあり方にも目を向けている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、こ生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見らく技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深め、ガイダンスの項目で、幅広く社会の状況や技術の歴史なる経緯などをわかりやすく説明している。 ○今までの世界の環境に対する考え方や、これから取り組ついて掲載されており、将来に渡って考えられるようコープで、同題やSDGsの取組が示され、生徒も社会の一覧は問題やSDGsの取組が示され、生徒も社会の一覧させる内容が盛り込まれている。	ことやバランスのこれからどのようにからどのようにかれる。 るための工夫〉 など、今の時代に至 目むべき課題などに こ夫されている。
資料	○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。も多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。○領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入関心を引く構成となっている。	
表記· 表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先のとにより、他分野や他教科との関連が分かりやすくなっ ○領域ごとに色分けされ、すぐに目あてのページを開きる ○AB版で今までよりサイズが大きくなり、文章と図なとい。	っている。 っすくなっている。
総括	○学習に対する考え方や進め方の流れが分かりやすく、写く見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習力など、生徒の実態に合わせることができるものとなっの確認や定着がしやすく構成されている。	習得、学びに向かう

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

書名	蛇 八廿维 克克 克克八眼	2
項目	新しい技術・家庭 家庭分野	東書
内容	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されておりまい。また、「いつも確かめよう」などの内容も学習のどがしやすく工夫されている。 ○生徒の興味・関心を引き、知識が身につくよう写真や資工夫がなされている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○実習や製作の流れが示されており、話し合い活動などが夫されている。 ○課題解決的な学習例があり、自分たちで進められるよう、大きれている。 ○課題解決的な学習例があり、自分たちで進められるよう、大きれている。 ○家庭での生活や衣食住の問題を提起し、考えていくことスのよい生活を心がけるよう工夫されている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、こ生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫が見らく実践的・体験的な活動の工夫〉 ○作業方法や実習例などを多く掲載し、学習してきたこと 	が進め方やまとめな 資料など、配置にも ぶしやすい内容にエ 工夫されている。 この大切さやバラン これからどのように いれる。
資料	きるような工夫がされている。 ○目標の設定や自己評価など、取り組みやすい参考例が指 ○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載してい も多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。 ○領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入 関心を引く構成となっている。	いる。図やイラスト
表記· 表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先のとにより、他分野や他教科との関連が分かりやすくエチ ○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きペ ○AB版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォント 図などの配置が見やすく工夫されている。	きされている。 Pすくなっている。
総括	○学習に対する考え方が分かりやすく、写真や図なども見ている。基本的な知識や技能の習得など、生徒の実態にきるものとなっている。学習内容の表記が見やすく構成	合わせて学習がで

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

書名	NEW 共统 安成 安成八眼	6
項目	NEW 技術·家庭 家庭分野	教図
項目 内容	***	
	 未来に向けての考え方の参考になるよう工夫されている ○環境問題など、生徒が社会の一員として考えるべき内容 る。 〈実践的・体験的な活動の工夫〉 ○今までの家庭での生活を踏まえ、これから取り組むべき 掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫がさる ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、こ生活していくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされて 	が感り込まれてい が盛り込まれてい は課題などについて されている。 これからどのように
資料	○生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載していて文章と共に関連付けて見やすくしている。○ページの隅にも資料を入れてあり、生徒の興味関心を引る。	
表記· 表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先の他分野や他教科との関連を見つけやすく工夫されている○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きペースB版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォント図などの配置が見やすく工夫されている。	う。 Pすくなっている。
総括	○学習の進め方の流れが分かり、写真や図なども大きく見ている。基本的な知識や技能の習得については、生徒のとができるものとなっている。学習内容の確認がしやする。	実態に合わせるこ

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【家庭分野(技術・家庭)】

書名	書名	
項目	技術·家庭 家庭分野	開隆堂
	 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各領域の単元ごとに学習の内容と目標が設定されておりな知識・技能を習得させることが分かりやすく表示され容も順序良く構成されており、学習の進め方がしやすくの生徒の興味・関心を支えるため、様々な参考例や考えたの考えを実現できるよう工夫されている。 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○生徒の考え方や方向性を示す内容が掲載され、課題に関し合いや実物を用いた説明などがしやすくなっている。 ○問題解決的な学習が進められるよう工夫されている。 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○学習してきたことが、わかりやすく将来に生かせるような。)、基礎的・基本的 れている。また、内 、工夫されている。 が掲載され、生徒 なり組みやすく、話 の工夫されている。
内容	これからの新しい社会に向けて自分が何をすべきか考えている。 ○家庭での生活と社会における問題を提起し、将来に向けたとしての生活のあり方にも目を向けている。 ○各領域のまとめとして、学習してきたことを踏まえ、こままれていくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされていくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされていくかを提言し、生徒に考えさせる工夫がされている。 ○実習例が多く、家庭での参考になる部分が多く見られる実行できる内容となっている。 ○家庭での生活に対する考え方や、これから取り組むべきなれてより、将来に渡って考えられるよう工夫され	けて考えていくこと これからどのように れからどのように れからどのように いている。 5。生徒が自ら考え き課題などについて
資料	掲載されており、将来に渡って考えられるよう工夫され 〇生徒が理解しやすいよう、実物の写真を多く掲載している。 も多く、文章と共に関連付けて見やすくしている。 〇領域との間に資料があったり、ページの隅に豆知識を入 関心を引く構成となっている。	いる。図やイラスト
表記· 表現	○他の資料や領域をまたがる資料については、リンク先のとにより、他分野や他教科との関連が分かりやすく工夫○領域ごとに色分けされ、すぐにめあてのページを開きペンAB版で今までよりサイズが大きくなり、UDフォント図などの配置が見やすく工夫されている。	きされている。 Pすくなっている。
総括	○学習に対する考え方や進め方の流れが分かりやすく、写く見やすいものとなっている。基本的な知識や技能の習力など、生徒の実態に合わせることができるものとなっの確認や定着がしやすく構成されている。	習得、学びに向かう

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名		2
項目	NEW HORIZON	東書
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各セクションの中で5領域がバランス良く学習できるように 文の Scene で導入した新出文型を Practice で練習し、その役 「話す活動」が設定されている。知識及び技能を習得につな て Mini Activity が用意されている。	後に「書く活動」
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○日常生活の場面や旅行での場面など、実生活に即した具体的 ンの場面が設定され、生徒が「自分の言葉として英語を使う されている。Read and Thinkでは3段読み(概要・大意をつ える→表現につなげる)で、内容理解にとどめず「読み」を 工夫されている。	」活動が豊富に用意 oかむ→詳細をおさ
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○日本の伝統・文化、異文化や国際理解、今日的課題など、多ている。各学年に配置された「学び方コーナー」には、自学う学習段階に応じた英語学習法のヒントが示されている。「は知識や技能を統合的に扱い、テーマ別の自己表現活動に結く聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと	:自習の参考となるよ Stage Activity」で :び付けている。
	ョンを図る資質・能力を育成するための工夫〉 ○目的や場面、状況に合わせたコミュニケーション活動が行え 「Key Sentence」と「Practice」が設けられている。文法理 ケーション活動が円滑に行えるよう「Grammar for Communic しく解説している。言語活動で必要な語彙が「Tool Box」「 に取り上げられている。	るよう、各単元に 解を通してコミュニ ation」で文法を詳
資料	○巻頭の「目的や場面、状況に合わせてコミュニケーションを通しを立てよう」で、どのように学ぶのか、何を学ぶのかが○各単元内のセクションごとにQRコードを設置し、家庭でも触れながら学習できるよう工夫されている。	明示されている。
表記· 表現	○各 Unit が 5 領域の力をバランス良く育成するよう構成されて ○和文には、全編を通じて読みやすいUDフォントが使用され 年生では手書き文字に近い書体、2,3年生では手書き文字に を併用している。	ている。英文は、1
総括	○様々なタイプの読み物や多様な題材を取り上げることで「必力」「概要を捉える力」「要点を捉える力」を育成し、そこや表現」を活用して発信につなげるよう構成されている。まを積み上げた先に「Stage Activity」が設定されている。「「Unit Activity」「Stage Activity」の順で、段階的に学習となっている。	から得られた「情報 た、各 Unit の学習 Mini Activity」

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

Í		
現)の		
etell の		
が配置さ		
は音読		
0		
文読解を		
/活動を		
常生活		
科学に		
な心を		
意見を		
わかり		
ケーシ		
置されて		
容、Our		
)内容、		
Reading では長文を読み、その内容をまとめられるページが用意されている。		
.夫され		
れてい		
声に触		
の工夫		
てい		
年生か		
ヒ発展さ		
う場面を		
場面ま		
゚ワー		
いる。		

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名		1 5
項目	NEW CROWN	
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	◯各単元に「GET」「GET Plus」が設けられ、学びのプロセスを	を構成的に配置して
	いる。「GET」では基礎的・基本的な語句や表現、文法事項や	や文構造の習得を、
	「GET Plus」では会話の中の表現と言語の働きを整理し、実	際のコミュニケーシ
	ョンで活用する力を養うよう工夫されている。また統合的活	動として各学年3か
	所に「Project」を配置し、知識・技能の定着を図る構成とな	なっている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○「USE」で読み取る力、書く力、発表する力、聞く力を育て、	それらを統合する
	活動「Project」を通して、思考力・判断力・表現力を養うご	ことができるよう構
	成されている。思考力・判断力の育成を図った上で、個人で	の取り組み、グルー
	プでの話し合い活動、ディスカッションを段階的に設定し、	表現力育成のための
内容	スモールステップが用意されている。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	│○各単元の「とびら」で学ぶ内容への動機づけをし、学習の見	_
	う工夫されている。生徒の知的好奇心にこたえる題材、人間	教育に資する題材な
	ど、興味・関心、発達段階に応じた多様な題材を通して現実	
	し、知識や考えを深めることができるよう、豊富な内容が用	
	〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと 	:などのコミュニケーシ
	ョンを図る資質・能力を育成するための工夫〉 ○ 5 毎はの バランスと野馬した 曲 みな ラボズ 野ぶ 「T. L. A. A. C.	. [D ·} ₩
	○5領域のバランスに配慮した豊かな言語活動が「Take Actio	_
	意されている。様々な言語活動を通して対話的な学びを引き	
	│ 状況に応じたコミュニケーション能力育成のための工夫がみ │ 書き込むことのできるページが随所に設定されている。	りれる。日口衣児を
	●さどびことのできるペークが随所に設定されている。○本文の内容理解を助けるイラストや写真が効果的に配置され	アいて ナキ 1年
	○本文の内谷垤麻を助けるイノストや与真が効未的に配直され 間の学習を自己評価できるよう、巻末に CAN-DO リストが示る	
資料	□の子首を自己計画できるよう、巻木に taiv bo ラストがかる ○各単元内のセクションごとにQRコードを設置し、家庭でもネ	_
	れながら学習できるよう工夫されている。	
	○学年に合わせた情報量や内容、フォントや配列・行間に配慮	がみられる。HDフ
表記・	- オントが効果的に使われている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
表現	 ○場面に合わせて言語活動で活用できる語句リストとして「い	ろいろな単語」、会
	話を繋げるための表現リストとして「会話表現」を付録とし	
	○「とびら」で学びの見通しを立て、「GET」で基礎的な知識	
総括	「USE」で知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を刻	 養う構成となってい
	る。また、統合的な活動を通して学びを振り返ることのでき	る「Project」が各
	学年に設定され、自分の考えや意見を発信できる資質を段階	的に培う配置構成と
	なっている。各ページの役割が明確に示されており、学びの	プロセスが「見える
	化」されている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	OME WODI D	1 7
項目	ONE WORLD	教出
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○Lesson の各 Part が本文、Key sentence、Listen の順で構成さ	れており、読むことに
	重点を置いた教科書となっている。Part ごとに対話文、物語、	スピーチ等が設置され
	ており、様々なタイプの英文に触れる工夫がされている。また、	Grammar のページ
	では文法事項を詳しく説明し、既習事項の確認ができるよう工芸	夫されている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○Tips や Project のページでは聞いて考える、判断する、考えて	表現ができるようにす
	るための内容が取り入れられている。Useful Expressions のペ	ージでは日常生活で使
	われる表現を練習する場面が設定されている。1年生の教科書の	の初めには各 Lesson
	で学習した内容を踏まえた表現を使って書き込むことができる。	ページがある。
f	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
内容	○巻末の「Activities Plus」では、その学年で学習した内容がまと	とめられている。Q&
	A方式でマスキングシートを使用しながら質問に答える練習が [*]	できる付録が用意さ
	れ、1年間で学んだ表現を復習できるよう工夫されている。また	た、各学年教科書の裏
	見返しには Can-Do 自己チェックリストが設けられ、5領域にわたる到達目標がわか	
	りやすく掲載され、自己評価することができる。	
	│〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと	:などのコミュニケーシ
	ョンを図る資質・能力を育成するための工夫〉	
	○本文を聞くこと、読むこと、内容を理解することから入り、文章	法を理解した上で話す
	こと、書くことを学習する構成となっている。Lesson 以外でも	読み物資料が多く配置
	されていることから、音読練習や本文の聞き取りを通して読む	力、聞く力が育成され
	る。1年生は小学校とのつながりに配慮し、小学校で学習した。	表現を使って言語活動
	できる内容が工夫されている。	
	│○各学年には英語の学習の仕方をアドバイスした How to Study ∅	りページが設けられ、
資料	自学自習の参考となる。	
271	│○各 Lesson の最初のページにQRコードを設置し、家庭でもネィ	イティブの音声に触れ
	ながら学習できるよう工夫されている。	
	○興味を高める写真掲載、各セクションの内容に沿った字体が工	
表記・	1年の学習の流れが明示され、教科書で使われている記号の説	明も詳しくされてい
表現	る。	
2132	○1年生の最初は読みやすい対話文を取り入れ、学年が上がるになる。	つれて英文の情報量を
	増やしている。	
	○各 Lesson の本文は生徒の興味を引く内容が取り入れられている	
	身近で親近感が持てる内容である。海外の文化と日本の文化を	
総括	構成とすることで、グローバルな課題に身近な場所から取り組	
, - *,	Lesson を中心としながら Tips、Project や資料を通して 5 領域	
	きる仕組みとなっている。 1 年生では、小学校で学んだ表現を	
	することができる「Springboard」のページが設定されている。	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	Have Wa Cal	3 8
項目	Here We Go!	光村
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉	
	○Unit の構成において、各単元の目標(Goal)に向かって基礎	*的な知識・技能を
	習得・活用しながら5領域の力をバランスよく伸ばすことが	できるよう構成され
	ている。「Active Grammar」と題した文法事項のまとめのペ	ージが設けられ、文
	構造や文法の単なるまとめではなく、ストーリーの中での言	語の使用場面と文
	型・文法を結びつけながら、知識・技能を活用できるよう工	夫されている。
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉	
	○各学年3カ所に、既習の知識・技能を活用して取り組む5領	
	動「You Can Do It!」が設定されている。思考力・判断力・	表現力を養う教材と
	して位置づけられている。また、本文やLet's Read 、Wor	ld Tour の随所に
	Think の問いが設けられ、文脈から類推したり想像力を働か	せたりしながら、自
内容	分の考えを持てるよう工夫されている。	
	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉	
	○各 Unit の扉のページではその単元で「何ができるようになるか」が明示され、	
	生徒が目標を明確にして学習に向かうことができるよう工夫されている。また、	
	英語を通して学んだ知識を自分の生活や実社会の問題、他教	科と有機的に結びつ
	けた学習に発展させることができるよう、多様な題材が用意	
	〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと 	:などのコミュニケーシ
	ョンを図る資質・能力を育成するための工夫〉	ゴニンニュマ曹佐の
	○空港アナウンスの聞き取りや、カフェでの注文のやり取り、	
	ポスターを読む、英語で宛名を書くなど、実社会に即した具	
	ションの目的や場面・状況を設定し、それぞれの場面で必要 ・***エス神習できるよう。エキされている	な関 収 で な な の に に に に に に に に に に に に
	を当てて練習できるよう工夫されている。	ム 白コ証年ベキフエ
	│○生徒が1年間の学びをセルフチェックし、自分の成長を確か │ 夫として CAN-DO LIST が示されている。	197日 日日評価 (3 3 工
資料	○各単元の「Part」ごとにQRコードを設置し、家庭でもネイ [、]	ティブの立志に触わ
	ながら学習できるよう工夫されている。	/ イ / V/目 戸 (CMS/4 U
	○学年に合わせた情報量や内容、フォントや配列・行間に配慮	がみられる IIDフ
表記・	カントも効果的に使われている。	
表現	○1年の巻頭には音と文字を結びつけるページ、2、3年の巻詞	まにけ つづりと発
X 90	音のルールを学ぶ資料が用意されている。	Kicia()) C Ju
	1年から3年まで同じ登場人物を配し、登場人物の体験や交	流の姿に共感しなが
	ら、ともに成長していけるようなストーリー仕立ての構成とな	
総括	一の中で出会う英語には、言葉の学びに必要な3つの要素「目	-
	況」が揃い、繰り返し触れることで豊富なインプットが得られ	
	る。自身に置き換えて考えられる場面を随所に配し、自然なア	
	な学びに繋がるよう構成されている。	
	<u>-</u>	

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

書名	等)【英語(外国語)】 BLUE SKY	6 1	
項目		啓林館	
	〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉		
	○日常的な話題に始まり、学年が進むにしたがって徐々に社会	的な話題を取り上	
	げ、生徒の発達段階に応じた題材構成となっている。Unit の)扉に掲載された各	
	「Part」の写真により、題材への興味・関心が高められるよ	う工夫されている。	
	「Words」「Target」「Practice」で語彙や文法事項を適切り	こ配置し、十分な練	
	習を行うことで幅広い知識・技能が習得できるよう構成され	ている。	
	〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉		
	○各「Part」で場面や状況を捉え、「Read and Think」で本文	に関連した内容を読	
	み深めることで自分の意見や考えを持ち、「Express Yourse	lf」で自己表現を行	
	うという学習の流れである。5領域を統合した活動として「	Project」のページ	
	が設けられ、思考力、判断力、表現力を高めることができる	0	
内容	〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉		
	○日本や世界で今起こっていること、実在する人物や実際の出来事が題材として扱		
	われており、興味関心を引き出す工夫がなされている。外国との文化比較、日本		
	文化・地域社会、職業・生き方、現代社会、自然・動物・環境、他教科との連		
	携、物語など、多岐に渡るジャンルの題材が提示されている	0	
	〈聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと	などのコミュニケーシ	
	ョンを図る資質・能力を育成するための工夫〉		
	○各 Unit の扉には各「Part」の目標が明示されている。「話す	す」「聞く」「読	
	む」の各技能を集中して学習できるよう「Let's Talk」「L	et's Listen」	
	「Let's Read」のページが設けられている。言語活動に必要な語彙や表現は		
	「Tool Box」に掲載されており、巻末資料の「Word Box」には場面や状況ごとに		
	まとめられた語彙や表現が掲載されている。		
	○巻末の Can-Do リストには、3年間の英語学習の達成目標がテ	示され、見通しを持	
資料	って学ぶことができるよう工夫されている。		
貝们	○各単元の「Part」ごとにQRコードを設置し、家庭でもネイ	ティブの音声に触れ	
	ながら学習できるよう工夫されている。		
	○1年生はUDフォント、2年生からは活字体を使用している	。また、1年生では	
表記・	アクセントのみを各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載さ	れている。2,3年	
表現	生ではアクセントと発音記号が本文中の各単語に併記されている。		
	○豊富なイラスト・写真が、読解をサポートするよう工夫され	ている。	
	○日本や世界で今起こっていること、実在する人物や実際の出	来事など「リアルな	
総括	題材」を取り上げることで生徒の興味関心を引き出し、題材		
	たい」「伝えたい」を引き出し、読解力の育成、発信力の育	· ·	
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1年生の巻頭では小学校で学んだ語彙・表現を用いた学習を		
	ィスカッションや長文での自己表現活動が用意され、小・中	・高の接続を重視し	
	た構成となっている。		

書名	新しい道徳	2
項目		東書
内容	〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○ねらいとする内容項目がぶれないように、各教材冒頭にテー起してから教材に入る問題解決的な学習の流れを作り、価値れている。 ○それぞれの教材に「考えよう」や「自分を見つめよう」を設実践意欲と態度を育てるための発問が用意されている。また、明用意されている。また、自己を見つめ、成長を実感できる所用紙が用意されている。また、自己を見つめ、成長を実感できる用紙が用意されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上でのいいじめ問題」と「生命尊重」について、全学年複数教材をな時期に配置し、いろいろな側面から多面的・多角的に考え夫されている。 ○人権、防災など、様々な現代的な課題について考えさせる教た、各学年1つずつ「情報モラルと友情」というテーマの教トフォンの画面を活用する等の工夫もされている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいの手でのできていますができ、ないでき、ないのできないできないでき、ないのできないできないのできないできないのできないがある。 〈不達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいの手でをの定番教材が掲載されている。また、3年生は国際理解学年が進むにつれて考える範囲が広がっていくよう構成されているででをできるよう、教材は短時間で読問の数は各教材と問に精選されている。 ○各学年2つずつ、役割演技などの手立てを示す「ACTIO験的な学習を通して考えが深まるよう工夫されている。 ○各学年の巻頭に「話し合いの手引き」が配置されており、話されている。	マを設定では、導入ようにであるよう。では、連邦では、前題を提出し、いたでは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世のは、一世の
資料	○各学年5つずつ、直前の教材に関連したコラムページ「PL○教科書裏表紙に二次元コードが用意され、教材と関連する映じて見られるよう工夫されている。	
表記· 表現	○すべての生徒が支障なく学習できるよう読みやすい字の大きられ、設問などは文節改行するなどの工夫がされている。○目次と教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで視点と内容項目ごとに分類されている。○AB判で写真や図版を効果的に用いながらも、生徒の負担を夫な紙を使い、軽量化されている。	示されている。索引は四つの
総括	○話し合い活動の時間が十分に確保できる適切な文章量の教材ードの用意など、生徒が深く考えることができるような多く論する道徳」の実現が第一に考えられている。○発達段階に合わせ、系統的に学習できるよう教材が配置され	の工夫がなされ、「考え、議

書名	しがだスネキ 東る 中学 労徒	1 7
項目	とびだそう未来へ 中学道徳	教出
内容	 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○内容項目についての直接的な表記はないが、学習指導要領で示されている四つの視点れに該当するかを、色と絵柄で区別して表記されている。また、それぞれの教材のタルの下には、この教材を通してどんなことを考えていくのか、意識付けをする問いがかりやすく端的なことばで紹介されており、見通しを持って学習に望むことができるな構成になっている。 ○教材の最後には「学びの道しるべ」があり、道徳的諸価値についての理解を深められう工夫がされている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○「いじめ問題」「差別問題」「生命の尊さ」について深く考えさせる教材を複数組みせたユニットを設け、多面的・多角的な考え方ができるよう工夫されている。 ○発達の段階に即した生活場面から「情報モラル」について考える教材が掲載され、情内容 	
「発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○たとえば、テーマ「自然・環境」では、1年生が富士山、2年生が釧路湿原、3年球と、発達段階に即した内容が取り込まれており、世界遺産や自然を守ることにえることができる構成になっている。 「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○すべての教材の最後に「学びの道しるべ」が示され、どの教材も3つの問いを連接でいる。また、「やってみよう」という活動のでとの学年にも配置され、役割演技や、日常の体験を想起して話し合う活動が取りた		
	ている。 ○内容が把握しやすい短めの教材や「読む」ことだけに頼らない合いに参加し、考え合えるような工夫がされている。○全学年、本教材が30本、補充教材が5本の計35本で構成	
資料	て、郷土資料などの多様な教材を活用したり、重点化したい する工夫等が取り入れやすく、創意工夫ある効果的な指導が	学習内容を二時間で扱ったり 出来るよう用意されている。
表記· 表現	○教材は区切りがしっかりと分かるよう、すべて右ページから 内容が見開きで見渡せるよう工夫されている。○カラーユニバーサルデザインを取り入れ、色覚特性を踏まえ 分けるなど、判別しやすい配色や表現方法がされている。	
総括	○イラスト、写真、漫画など表記が多岐にわたり、生徒の興味る。○教材冒頭の導入と教材末尾の「学びの道しるべ」で、生徒がら道徳的諸価値について考えられるよう工夫されている。○実際の行動と結びつけて道徳的諸価値を学べるよう「やって	流れとポイントをおさえなが

書名項目	きみがいちばんひかるとき 中学道徳	3 8
		光村
内容	 光村 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○各学年とも1年間が3つのシーズン (まとまり) に分けられている。また、3つのシーズンには、学習指導要領に示されたA~Dの四つの視点が、発達段階を踏まえ、バランス良く配置されている。 ○それぞれのシーズンには、学びのテーマ (「自ら考えて」「広い視野で」「共に学び合いながら」) が設定され、そのテーマに合わせて教材をまとめ、ユニットが構成されている。それにより、系統性、連続性のある学習が可能となり、教師にとっても年間を見通した計画が立てやすくなるよう工夫されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○生徒が自分の問題として考えられるよう、様々な教材が取り扱われている。特に「環境」(各学年1つずつ)「国際理解」(各学年1つずつ)「共生」(各学年2つずつ)については、教材のあとに「広めよう」というコラムが用意されており、考えが深められるような工夫がされている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○主体的・対話的で深い学びを実現するために、各学年とも四カ所ずつ「深めタイム」が配置されており、前の教材で学んだことを、自分に引きつけて考えられるような配置となっている。特に「いじめ問題」と「情報モラル」については、全学年に設けられており、三年間を通してじつくり考えられるよう工夫されている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○自ら問いを発見し、時には協働しながら多面的・多角的に物事を考えられるよう、また自分の考えの変化や深まりが実感できるよう、その教材の最後には「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」が示され、深い学びにつながるよう工夫されている。さらに、各学 	
資料	する道徳」に取り組みやすいように工夫されている。 ○全学年に付録として、小学校の道徳の時間で学んだ教材が掲載され、学び直しをした結果、自分の心の成長が読み取れるように工夫されている。また、全学年2つずつ著名人による「あなたへのメッセージ」が掲載され、それぞれが考えさせられる内容となっている。	
表記· 表現	○特別支援教育を意識して、すべての生徒がイメージしやすい 漫画や人物解説が施されている。また、カラーユニバーサル 習指導要領の四つの視点を表す印がデザインされている。さ UDフォントが使用されている。	デザインの配慮がなされ、学
総括	○教科書はB5判になっており携帯しやすいサイズとなってい○「学びの記録」では、生徒は自分の変化や成長を振り返るこを見取ることができるようになっている。	-

	・	1 1 6	
書名 項目	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	日文	
	 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○異なる内容項目に属する様々な教材・コラムを組み合わせたユニットとしてまとめられ、 1年生から3年生まで、年間複数の教材が配置されている。一定期間に集中的に学ぶこと で、より深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○現代社会が抱える諸問題に関わって「いのちの大切さ」や「情報モラル」など、さまざま テーマが取り上げられている。未来を担う生徒達が前向きに取り組んでいけるような教 		
内容	材・コラムを選定し、1年間の見通しをもって学べるような構成となっている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○1年生は「いじめ」の認知件数が多いという実態を踏まえ、ユニット「『いじめ』と向き合う」が年間に3カ所配置されている。また、2・3年生にも2カ所配置されている。		
	 く「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○議論や体験のようすが写真で示され、活動内容をイメージしやいよう配慮されている。演技を見るときの注意点や、意見発表の流れを具体的に示し、体験的な活動が進めやすくなるように工夫されている。 ○「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設け、ホワイトボードなどを使った議論の方法や教材参考資料、さらに「考えを深 		
資料	める視点」として多面的・多角的な視点からの問いが示されている。 ○各教材・コラムは、生徒の発達の段階や学校の年間行事などを踏まえ、適切な時期に配置されている。生徒が教材の内容を「自分にとって身近なこと」として捉え、主体的に取り組めるように工夫されている。 ○教材の内容を理解するために大小様々な写真や挿絵などが掲載されている。		
表記· 表現	 ○すべての生徒が等しく学べるように、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、特別支援教育の観点からさまざまな配慮がされている。 ○文章の読解が難しい生徒も理解しやすいよう、漫画形式の教材を取り入れたり、クライマックスともいえる場面で原作絵本の挿絵が大きく掲載され、衝撃と感動が伝わるようにしたり、イメージしやすい工夫がされている。 		
総括	 ○登場人物を紹介することで内容把握を助け、議論する時間をより確保できるよう工夫がされている。「考えよう」や「自分に+1」で「考え、議論する」発問例や前向きに自分を生かす発問例が挙げられ、ねらいに迫ることができるような構成となっている。 ○別冊「道徳ノート」に自分や友達の意見を書き留めることで、生徒が自らの成長を実感し、道徳科で求められる「生徒一人ひとりを励ます個人内評価」が無理なく実現でき、家庭との連携も図ることもできるように工夫されている。 		

書名項目	新・中学生の道徳 明日への扉	2 2 4		
		学研		
内容	 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○巻頭に授業への向き合い方として「考えを深める四つのステップ」が明示され、主体的な学習態度を育むよう工夫されている。さらに問題解決的な授業の流れがわかる特設ページ「深めよう」が提示され、生徒が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるように工夫されている。 ○視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えられるように工夫されている。 ○視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えられるように工夫されている。 ○が材本文の前に主題名を表示しないことにより、特定の価値観を押し付けることなく生徒が主体的に学びを深めることができるよう配慮されている。 ○「クローズアップ」を中心に道徳での学習を日常生活に活かし、道徳性の育成につなげられるよう工夫されている。また巻頭、巻末に学びの記録ができる紙面が用意され、年間を通して自分の成長を客観的にとらえることができるように配慮されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○「命の教育」が全学年を通じて最重要テーマとしており、「生命の尊さ」の教材を各学年3教材すつ掲載されている。 ○「いじめ防止」につながる教材は様々な内容項目から多数用意され、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ○「SDGs」「キャリア教育」を全学年ユニット学習とし、視点や内容の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えさせる授業が展開できるよう工夫されている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○学年ごとに発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数の教材が用意されている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○学年ごとに発達的特質に応じたテーマを設け、該当項目に複数の教材が用意されている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○古体的に議論したくなるような図やグラフ、会話文など新感覚型の教材が多く用意されている。 〈すえ、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○主体的に議論したくなるような図やグラフ、会話文など新感覚型の教材が多く用意されている。 ◇教科書巻頭に「考えを深める4つのステップ」が用意され、話し合った上で自分の生き方を考えていけるような授業の流れが明示されている。 			
資料	○「深めよう」では、問題解決的な話し合いや、役割演技などの手立てが提示され、学習の めあてや流れを理解しやすくなるよう工夫されている。○AB版を採用し、写真や図版が大きく効果的になるよう工夫されている。○教材ごとに生徒の興味を引く一言や授業に向き合うためのキーフレーズが記されている。 また、様々な生き方から学べるよう、各学年20名以上人物が掲載されている。			
表記· 表現	○目次と教材は学習指導要領の四つの視点が色とマークで示さ○字の大きさや色遣いなど、ユニバーサルデザインの考えに基	れている。		
総括	○選び抜かれた教材を用い、主題名をあえて明示せず、授業のることによって、生徒の主体的な学びと気づきができるよう○「SDGs」と「キャリア教育」のユニット学習や様々な人る教材から、自分の生き方を見つめ、プラス思考と未来志向るよう工夫されている。	工夫されている。 の生き方に触れることができ		

書名項目	中学生の道徳	2 3 2
	中学生の道徳ノート	廣あかつき
内容	 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○本冊と別冊「道徳ノート」の2冊構成となっている。この2冊で「考える・話し合う・自分を振り返る」ことができ、「指導と評価の一体化」に応えられるよう工夫されている。 ○各教材末尾に「考える・話し合う」を提示することにより、生徒の主体的な学習が促されるように工夫されている。また、視点の異なる複数の問いを設け、多面的・多角的に考える力が育めるよう配慮されている。 ○別冊「道徳ノート」は授業内容に応じて自分の考えを記述することができ、心の成長や変容を実感することができる構成になっている。 	
	〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での ○「生命尊重」と「いじめ防止」と関わりの深い四つの内容項 任、思いやり・感謝、生命の尊さ、よりよく生きる喜び)を いて3教材ずつ掲載されている。 ○情報モラルや持続可能な社会など現代的な課題についての教 末に特集ページを設け、他の教育活動との関連を図りながら る。	目(自主・自立・自由と責 重点項目とし、それぞれにつ 材が全学年に配置し、本冊巻
	〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらい○内容項目を巻頭や教材冒頭に載せず、生徒自らが道徳的価値でいる。○学年が進むにつれ、価値そのものを深く考え、哲学的に思考問いが精選されている。	を見いだせるように工夫され
	〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉	
	○各教材末尾に「考える・話し合う」が設けられ、生徒が学習できるよう構成されている。○生徒の心を揺さぶるような、感動教材や真剣にいじめに向きされている。また、生徒たちと年代の近い主人公の作品が積ら考えられるような構成になっている。○問題解決的な学習を促す教材や体験的な学習を促す教材などできるような教材が精選されている。	合う教材などが精選して用意 極的に掲載され、共感しなが
資料	○本冊には教材と合わせて活用できる資料ページ thinking が掲載されている。別冊ノートにはそれぞれの内容項目について考えを深めるような多くの資料が掲載されている。 ○「インターネット」のマークのある題材には、関わりのある補助資料を見られるデジタルコンテンツが用意されている。	
表記· 表現	○AB判を採用し、イラストの配置を工夫することで圧迫感の○「誰でも見やすい・読みやすい」ように、本冊は配色の良さる。○本冊に別冊を挟み込むことで一体になるように製本されてい○教材冒頭に学習指導要領の四つの視点が色とマークで示されされている。巻末には、教材ごとに内容項目が示されている	と見やすさが重視されてい る。 、道徳ノートのページ数が付 。
総括	○中学生だからこそ読んでほしい感動教材や人物教材の精選に○「道徳ノート」との併用により、主体的な学習を促し、多面育成につなげるとともに、心の成長や変容を実感できるよう○他の教育活動との関連で考える現代的な課題や発達の段階にている。	的・多角的に考え、道徳性の 工夫されている。

書名項目	道徳 中学	2 3 3	
		日科	
内容	プロペ 中子 □科 〈学習指導要領の教科の目標に関わる工夫〉 ○学習指導要領の内容項目順に教材が配置されている。「A自分自身と向き合う」「B人とのかかわり」「C集団や社会とのかかわり」「D自然や崇高なもととのかかわり」の4章立ては、それぞれ学習指導要領のABCDに対応しており、教科書の順番に縛られることなく、各地域、各学校の特色や方針によって、自由に各教材を活かせるよう工夫されている。 〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉 ○生命とは何か、その尊さを守るためにはどのように考えればよいかなど、生命尊重への学びをより深める教材が多数掲載されている。また、本書全体で「正義」「寛容」「人権」「人間愛」など、さまざまな教材の主題で「いじめを許さない心」が育成できるような構成となっている。 〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉 ○中学校3年間は、心も体も大きく成長する時期であり、その発達の段階を考慮しつつ、学年間の繋がりも重視した教材が採用されている。例えば、3年生ではキャリア教育の視点からキャリア発達段階の連続性が考慮された配置となっている。また、併せて特別活動における「一人一人のキャリア形成と自己実現」学習との関連を意図した内容になっている。 〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉 ○答えが1つではない道徳的な問題を、一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、「考えることができる」「議論することができる」ように工夫されている。教室で自然と議論が巻き起こるような仕掛けを「教材内容」と「問い」に施している。価値観の多様性をしっかり受け入れる寛容な心を育む教材として「リョウマとマキ」シリーズ、「一通のメッ		
資料	○学校現場を経験し、中学生の問題や悩み、夢や希望に日々関わっている教師達が執筆した オリジナル教材が多く掲載されている。		
表記・ 表現	○巻末から逆引きすることで、分かりやすく教材を選択できる 領との対応表が掲載されている。○表紙には、過去から現在まで受け継いできた伝統や文化の写 未来へと繋がる新しい技術の写真が掲載されている。		
総括	○現場の多くの先生方からの生徒の率直な反応や意見を反映さ起こるような教材となるよう吟味されている。○教材ごとに、生徒の思考を揺さぶる問いとして「考え、話しう」が設置されている。○巻末に心の成長を振り返るページを設け、1冊全体で1年間成になっている。	合ってみよう そして、深めよ	